

凡繼父母或ハ舅姑其繼子若クハ男ノ婦及ヒ女ノ婿ニ對シ猥褻所行ノ罪ヲ犯シタルキハ三ヶ月以上ノ禁獄ニ處セラル可シ而シテ繼子若クハ男ノ婦及ヒ女ノ婿ハ六ヶ月以内ノ禁獄ニ處セラル可シ凡骨肉及ヒ同母異父及ヒ同父異母ノ兄弟姊妹互ニ相姦スルノ罪ヲ犯シタルキハ六ヶ月以内ノ禁獄ニ處セラル可シ

○巴威也拉

千八百六十一年九月十日ノ刑法書

第二百八條 凡父母或ハ他ノ上系親屬ノ者其骨肉ノ

子孫ニ對シ猥褻所行ノ罪ヲ犯シタルキハ其父母或ハ他ノ上系親屬ノ者ハ三ヶ年以上ノ禁獄ニ處セラ
ル可シ其子孫若シ十六歳以上ニ至リタル者ハ二年以内ノ禁獄ニ處セラル可シ同時ニ父母或ハ他ノ上系親屬ノ者ハ第二十八條中第五項ニ揭示シタル職務ニ收用スルヲ免サス而シテ若シ父母或ハ上系親屬者現ニ受業師若クハ幼學師ノ如キ公務ヲ任セラ
ル者ハ罰トシテ其職ヲ奪フ可シ

第二百九條 凡骨肉及ヒ同母異父又ハ異母同父ノ兄弟姊妹互ニ相姦通スルノ罪ヲ犯シタルキハ三ヶ月

乃至二ヶ年間ノ禁獄ニ處セラル可シ

第二百十一條 凡舅姑或ハ繼父其女ノ婿及ヒ男ノ婦

又ハ繼子ニ對シ猥褻所行ノ罪ヲ犯シタルキハ親族

間タル通義ニ基ク所ノ結縁尙ホ保存シ或ハ已ニテ解キタル者ヲ併ス

爲シタル故ヲ以テ舅姑或ハ繼父母ハ三ヶ月乃至二

年間ノ禁獄ニ處セラル可シ男ノ婦又ハ女ノ婿或ハ

繼子若シ十六歳以上ニ至リタル者ハ一年以内ノ禁

獄ニ處ス可シ

第二百十六條 凡父母或ハ他ノ上系親屬其骨肉ノ子

孫ト互ニ相姦通シ若クハ子孫ヲ姦シ若クハ子孫ヲ

誑誘シテ姦通シタルキ若シ第二百八條或ハ第二百
十二條乃至第二百十四條或ハ第二百二十條中ノ罪
犯ヨリ重キ者ニ非サレハ二ヶ年以内ノ禁獄ニ處ス
可シ

○墾地利千八百六十七年ノ草按

第二百十六條 上系親屬血系或ハ義間ニテ姦通ノ所故ノ親屬

行ノ罪ヲ犯シタルキハ骨肉相姦スルノ重犯ニ依テ

論シ一年乃至四年間ノ懲役ニ處ス可シ

第二百十七條 凡骨肉或ハ同母異父及ヒ同父異母ノ

兄弟姊妹并ニ第二等ノ親族間ニテ猥褻所行ノ罪ヲ犯シタルキハ宗親族ノ出訴スルヲ須テ乃チ四ヶ月乃至一年間ノ禁錮ニ處ス可シ若シ宗族ノ者其罪ヲ犯シタルキハ親族仲間ノ出訴ヲ須テ乃チ前ト同罪ニ處ス可シ

○丟列支 千八百六十六年ノ草按

第百條 凡骨肉ノ父母其子ト互ニ相姦通スルノ罪ヲ犯シタルキハ父母ハ五年以内ノ懲役ニ處刑セラレ子若シ十歳以上ニ至リタルキハ二年以内ノ懲役ニ

處刑セララル

第百一條 凡繼父母ト繼子ト姦通シタルキハ繼父母ハ工役ノ刑ニ處セラレ若シ其繼子ノ年齢十六歳以上ニ至リタル者ハ禁獄ノ刑ニ處セララル

第百二條 凡骨肉及ヒ同母異父及ヒ同父異母ノ兄弟姊妹互ニ相姦通スルノ罪ヲ犯シタルキハ五年以内ノ懲役ニ處刑セララル

第百三條 凡第九十七條乃至第百二條ニ論シタル重罪及ヒ輕罪ハ親族ヲ以テ互ニ肌膚ヲ連接シ正シク姦罪ヲ遂ケタルニ注意ス可キヲ要ス

○墾地利 千八百五十二年五月二十七日布告

第一百三十一條 公生私生ノ辦ヲ間ハス尊卑共ニ親

屬相姦スル者之ヲ親屬相姦ト爲ス

其刑ハ六月乃至一年ノ輕徒刑タル可シ

第五百一條 兄弟若クハ半兄弟或ハ親ノ配偶又ハ子

女兄弟姊妹ノ配偶ト姦スル者ハ違式罪トシ一月以

上三月以下ノ禁獄但シ本刑ハ情狀ニ從テ苛嚴ヲ加

フルヲ有ル可シ

本罪ヲ糺彈スルニ誘導ノ罪アル者ハ一月以上三月

以下ノ嚴規禁獄又期滿後ハ官能ク注意シテ兩者互

ニ離絶シ果シテ復タ姦通セサルヲ務ム可シ

第五百四條 家從家長ノ女或ハ其親族ニシテ家政ニ

服事スル處女ヲ姦スルキハ之ヲ違式罪トシ該犯者

其家族ニ對セル疎密ニ從テ一月以上三月以下ノ重

禁獄ニ處ス可シ

第五百五條 下婢家長ノ子男若クハ同居セル親屬ノ

少年者ヲ誘導シテ姦淫ヲ爲スモ亦前條ノ刑ニ準スル

然レモ右兩個ノ違式糺彈及ヒ處刑モ唯其兩親親屬

或ハ後見者ノ請願ニ依テノミ然ルモノトス

○加利堡爾尼

第二百八十五條 凡法ニ於テ相婚スルヲ許サ、ル
ノ等親者 倫若シ相婚スルハ法ニ於テ其婚ヲ亂若シ
 トシテ廢弛ス可キ者ト爲スナリ
 相婚シ或ハ有夫姦處女姦ヲ相犯ス者ハ十年以下ノ
 禁圀ヲ科ス

第五十 二重婚ノ罪

○佛蘭西

第三百四十條 未タ前婚ヲ解カサル中更ニ再婚ヲ爲
シタル者ハ有期ノ徒刑ニ處セララル可シ
 未タ前婚ヲ解カサル中更ニ再婚ヲ爲サシメタル官
 吏ノ其事ヲ知テ許セシ時ハ其官吏同上ノ刑ニ處セ
 ラル可シ

○獨逸

第七十一條 婚姻ヲ契約シタル者未タ前婚ヲ解カ

ス又ハ之ヲ廢棄セス又其婚姻ノ法ニ適セサルヲ
出訴セサル以前後婚ヲ契約シタル者又婚姻ヲ結ハ
サル人婚姻ヲ結ンタル人ト知リテ故ヲニ其人ト契
約シタル者ハ五年ヨリ長カラサル徒刑ニ處ス可シ
若シ酌量輕減アル時ハ六月ヨリ短カラサル禁獄ニ
處ス可シ

其論罪棄捐ノ年限ハ兩度ノ婚姻中其一ヲ解キ又之
ヲ廢棄シ又其婚姻ノ法ニ適セサルト出訴シタル日
ヨリ起算ス可シ

○白耳義

第三百九十一條 凡已ニ許嫁セル者未タ其約ヲ廢セ
ス更ニ他ニ許嫁スル者ハ監役ニ處ス可シ

○英吉利

凡本夫若クハ本妻アリテ更ニ餘人ト婚姻スル者ハ縱
ヒ外國ニ在テ犯スト雖モ重罪ニ坐シ五年ヨリ七年
ニ止ル徒罪ニ處シ或ハ二年ニ止ル入獄ニ處シ若ク
ハ苦役ヲ加フ

其外國人ノ他國ニ行キ再婚スル者及ヒ夫若クハ妻

其家ヲ出テ七年ヲ過キテ還ラス又其生死ヲ知ラス
シテ再婚スルモノハ此限ニアラス

○普魯士千八百五十一年四月十四日ノ刑法

第三百二十九條 凡未タ前婚ヲ解ガサル前ニ更ニ再婚
ヲ行フ夫若クハ婦及ヒ其夫若クハ婦ノ已ニ婚ヲ結
ヒシ情ヲ知り之レト婚ヲ結ヒシ未婚人ハ共ニ五年
以上ノ徒刑ニ處セラル可シ
僧官或ハ戶籍官吏ノ已ニ人ノ婚姻ヲ結ヒタルヲ知
リ更ニ其人ノ再婚ヲ結フヲ許可スルキハ同上ノ刑

ニ處セラル可シ
各様ノ婚姻ヲ結ヒタル大罪ニ於テ夫婦中一方ノ其
婚ヲ解キ若クハ之レニ付キ全ク異論アラサルキハ
其時ヲ以テ始メテ罪科ノ期滿免除ヲ行フ可シ
着眼「ヂルデング」ノ第三百三十二條中モ亦同
一ナリ然レモ二年間ノ禁獄ニ加フルニ五年以内
ノ民權剝奪ヲ以テス

○薩克索千八百六十八年十月一日改正ノ刑法

第二百六十八條 凡已ニ結ヒタル婚姻ヲ未タ解カサ

ル中ニ(第二百六十一條)更ニ某人ト婚姻ヲ結フ夫若クハ婦ハ左ノ罪科ニ處セラル可シ

第一款 若シ其某人モ亦已ニ婚ヲ結ヒシ者ナルキ

ハ其夫若クハ婦ハ二年以上四年以下ノ徒刑ニ處セラル可シ

第二款 縱令其某人ハ未婚人ナリト雖モ若シ其夫

若クハ婦ノ婚ヲ結ヒシ身分タルノ情ヲ知リシキハ夫若クハ婦ハ三年ヨリ多カラサル徒刑ニ處セラル可シ

第二百六十九條 前ト相反シ已ニ婚姻セシ夫若クハ

婦自ラ已婚人タルヲ知ラサル未婚人ヲ誘掖シ之ト婚約ヲ結ヒシキハ其夫若クハ婦ハ二年以上六年以下ノ徒刑ニ處セラル可シ

第二百七十條 凡未婚人已婚人ト婚ヲ結フキハ一ケ

月ヨリ少カラズ六ケ月ヨリ多カラサル禁獄ノ刑ニ處セラル可シ又之ニ反シ未婚人已婚人タルヲ知ラス之ト婚ヲ結ヒシキハ假令後ニ至リ其已婚人タルヲ覺知シ且裁判所ヨリ其二重婚ヲ解カル、ニ至ル迄絶ヘス其已婚人ト夫婦ノ生業ヲ營ムト雖モ密姦或ハ二重婚ノ罪犯ニ依テ處決セラル、トナシ

第二百七十一條 凡二重婚ヲ結フニ就キ其罪ヲ減ス可キ原因ハ左ノ如シ

第一款 前婚ハ既ニ解婚セシカ如ク見做ス可シト

雖モ再婚ヲ結フニ當リ未タ前婚ヲ解カサル時

第二款 平生法ニ適シ寢食ヲ共ニセサル時又ハ何

時タルヲ定メサレモ少クモ再婚ヲ爲ス前ニ法ニ

適シ寢食ヲ共ニセサル時

第三款 本夫若クハ本婦ノ其居地相隔リ而シテ再

婚ヲ爲スニ當リ其本婦若クハ本夫ノ死去セシ

ノ眞實タルカ如キモ或ハ其再歸ノ目的ナキ時

第四款 再婚ヲ爲シ其夫婦ノ同衾ヲ爲サレル時

上ノ四款中ニ論セシ減罪原因中ノ各場合ニ於テハ

其罪ヲ減シ本罪ノ二分一ヲ科ス可シ

上ノ第一第二第三款中ニ論シタル減罪ノ原因顯然

タル場合ニ於テハ

第一節 互ニ二重婚第二百六十九條ヲ結フ場合ニ於テ若

シ其犯者ノ一名ノミニ前款中減罪原因ノ一箇ア

ルモハ其罪ヲ減シ該者ハ四個月ヨリ少カラス二

年ヨリ多カラサル禁獄ノ刑ニ處セラル可シ然レ

モ他ノ一名ハ減罪ノ原因ナキヲ以テ一年以上三

年以下ノ徒刑ニ處セラル可シ但シ犯者互ニ前ニ論セシ減罪ノ原因ニ一箇アルキハ雙方共ニ二箇月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル禁獄ノ刑ニ處セラル可シ

第二節 一名ノミニ重婚ヲ結フ場合ニ於テ前ニ論セシ減罪ノ原因ニ一箇アルキハ第二百六十八條第二款ノ罪犯ニ於テハ二箇月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル禁獄ノ刑ニ處セラレ第二百六十九條ノ罪犯ニ於テハ三年以内ノ徒刑ニ處セラレ第二百七十條ノ罪犯ニ於テハ二年ヨリ多カラサ

ル禁獄ノ刑ニ處セラル可シ

○丟靈厄斯的丁

第二百九條 凡民法上ニ於テ結ヒタル婚姻ヲ未タ解カス且全ク其故障ナキキ某人ト再婚ヲ爲ス夫若クハ婦ハ一年以上二年以下ノ徒刑ニ處セラル可シ又其夫若クハ婦ト婚ヲ爲シタル者若シ未婚人タルキハ三ヶ月ヨリ少カラス六ヶ月ヨリ多カラサル禁獄ノ刑ニ處セラル可シ

凡夫婦ノ寢食ヲ共ニセサルニ當リ婚ヲ解キシト同

一ニ視做ス可キモノハ民法上ニ於テ婚ヲ解キシ夫
若クハ婦ノ他ニ再婚スルヲ許ス時ナリトス民事裁
判ヲ經
タルニ依リ離別シタル夫若クハ婦ノ再婚スルヲ許
ス時ニ非サレハ假令寢食ヲ共ニ爲サ、ルモ決シテ
婚ヲ解キタルト同
一ニ見做ス可ラス

第二百十條 凡二重婚ヲ結フ罪ヲ犯セシ雙方ノ者若

シ夫婦ノ生産ヲ營ムルハ共ニ二年以上三年以下ノ

徒刑ニ處セララル可シ

第二百十一條 凡夫未タ其婚セサルヲ口實ト爲シ女

ヲ誑誘シテ婚約ヲ結フルハ三年以外四年以内ノ徒

刑ニ處セララル可シ

第二百十二條 若シ事ノ左ノ款中ニ涉ルルハ第二百九

條及ヒ第二百十條ニ定メシ罪科ニ該ル可キモノハ

罪ヲ犯セシ夫若クハ婦ハ六ヶ月ヨリ少カラス二年

ヨリ多カラサル禁獄ノ刑ニ處セララル可ク又共ニ其

罪ヲ犯セシ一方ノ者ハ一ヶ月ヨリ少カラス二ヶ月

ヨリ多カラサル禁獄ノ刑ニ處セララル可シ

第一款 前婚ニ於テハ全ク事ノ論ス可キモノナキ

時

第二款 解婚セシモノト同一ニ見做ス可キニ非サ

レモ其前婚ニ於テ寢食ヲ共ニセサル時

第三款 前婚ニ於テ本夫若クハ本婦其居地相隔リ
而シテ其死去セシトノ眞實タル可キヲ認メタル
并或ハ再婚ニ於テ全ク婚姻上ノ同衾ヲ爲サ、ル
并

○不拉尼斯襪意厄

千八百四十年七月十日ノ刑法

第一百八十七條 凡確的ニ結ヒタル婚姻ヲ解カサル前
ニ更ニ再婚ヲ爲ス者ハ一年ヨリ少カラサル徒場驅
役ノ刑ニ處セラル可シ若シ又夫若クハ婦ノ其婚姻
セシ身分タルヲ秘シ未婚人ヲ誑誘シテ婚姻ヲ結ヒ

或ハ他人ノ婦若クハ婦ナルヲ知テ婚ヲ結フキハ重
罪ニ處セラル可シ

凡未婚人已婚人タルヲ知り之ト婚姻ヲ爲スキハ三
ヶ月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル禁獄ノ刑ニ
處セラル可シ

○昂不爾厄

千八百六十九年四月三十日ノ刑法

第一百五十八條 凡法ニ循ヒ婚ヲ結ヒ未タ之ヲ解カサ
ル前ニ再婚スル者ハ四年ヨリ多カラサル羈絆ノ刑
ニ處セラル可ク又若シ其身ノ已婚人タルヲ秘シ未

婚人ヲ誑誘シテ之ト婚ヲ結フキハ重キ罪ニ處セラ
ル可シ

凡未婚人巳婚人タルヲ知リ之ト婚ヲ結フキハ三ヶ
月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル禁獄ノ刑ニ處
セララル可シ

○巴威也拉千八百六十一年十
一月十日ノ刑法

第二百十九條 凡未タ前婚ヲ解カサル中ニ更ニ再婚
ヲ結フ夫若クハ婦ハ二年ヨリ少カラサル禁獄ノ刑
ニ處セララル可シ

凡未婚人巳婚人タルヲ知リ之ト婚ヲ結フキハ同上
ノ刑ニ處セララル可シ

凡巳婚人ノ互ニ再婚ヲ爲シタルキハ三年ヨリ少カ
ラサル禁獄ノ刑ニ處セララル可シ

此重罪ヲ裁判上ニテ糾問スルノ期滿免除ハ前婚ヲ
解キ若クハ後婚ヲ解クニ因リ各様ノ結婚ヲ破毀セ
シキ始テ之ヲ行フ可シ

○巴敦千八百四十五年三月六日及
五十五年二月五日ノ刑法

第三百五十四條 凡前婚ヲ解カサル中ニ更ニ再婚ヲ

結フ夫若クハ婦ハ一年以上ノ工役刑或ハ五年以下ノ徒刑ニ處セララル可シ

第三百五十五條 未婚人情ヲ知テ已婚人ト婚ヲ結フキハ未婚人ハ一年以下ノ工役刑已婚人ハ二年以下ノ工役刑ニ處セララル可シ

第三百五十六條 已婚人互ニ婚ヲ結フキハ其一方ノ者又ハ他ノ一方ノ者未ダ前婚ヲ解カサルヲ知ルト否トヲ問ハス各四年以内ノ工役刑ニ處セララル可シ
第三百五十七條 凡各様ノ婚姻ヲ爲シタル重罪ヲ裁判上ニテ糾問スル期滿免除ハ前婚或ハ再婚ヲ解キ

以テ各様ノ結婚ヲ廢セシ時ヨリ始ム可シ

○丁抹千八百六十四年二月十六日ノ刑法

第六十條 凡已婚人更ニ再婚ヲ爲スキハ二年以上六年以下ノ徒刑ニ處セララル可シ然レモ情ニ於テ其罪ヲ更ニ減ス可キ場合ニ於テハ改良工役ノ刑(八月)ニ處セララル可ク若シ又互ニ離婚ノ自由ヲ許セシ以來同居シテ長ク時日ヲ送リシキ并ニ再婚者配偶ノ一方死去セシト認ム可キ原因アルキハ之ヲ禁獄ノ刑ニ處シ水ト趨トヲ減ス然レモ五日內四度ヨリ以

下ニ之ヲ減ス可ラス
 未婚人若シ他人ノ配偶者タルヲ知リ之ト婚ヲ結フ
 キハ二年ヨリ多カラサル禁獄ノ刑ニ處セラル可シ
 或ハ情ニ於テ其罪ヲ更ニ減ス可キ場合ニ在テハ之
 ヲ禁獄ノ刑ニ處シ水ト逸トヲ減ス然レモ五日内ニ
 度以下ニ減ス可ラス若シ又未婚人嘗テ結婚スルキ
 其情ヲ知ルニ非サレモ後ニ至リ委サニ其情ヲ知リ
 尚ホ續テ夫婦同居スルキハ禁獄ノ刑ニ處セラル可
 シ

○瑞典 千八百六十四年二月十六日ノ刑法

第四條 未タ前婚ヲ解カサル前ニ他ノ未婚人ト再婚
 ヲ結フ已婚ノ夫若クハ婦ハ二重婚ニ依テ論シ六ヶ
 月以上四年以下ノ驅役刑ニ處セラル可シ

第五條 已婚人互ニ再婚ヲ結フキハ二重婚ニ依テ論
 シ二年以上六年以下ノ徒刑ニ處セラル可シ

第六條 未婚人若シ已婚人タルヲ知テ之ト婚ヲ結ヒ
 シキハ二年ヨリ多カラス二ヶ月ヨリ少カラサル驅
 役刑ニ處セラル可シ

〇墺地利千八百六十七年ノ草案

第二百一條 凡已婚人未タ前婚ヲ解カサル中ニ某人ト婚ヲ結フキ某人ハ假令未婚人タルモ其已婚人ノ未タ前婚ヲ解カサル情ヲ知り之ト婚ヲ爲シタルキハ其已婚人ト共ニ二重婚ノ重罪ニ依テ之ヲ論ス可シ

此重罪ハ四ヶ月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル禁獄ノ刑ニ處ス可シ然レモ其已婚人未タ其前婚ヲ解カサルヲ告知セスシテ未婚人ト婚ヲ結フキハ此重罪犯ヲ以テ四ヶ月以上一年以下ノ徒刑ニ處ス可シ

〇不來梅千八百六十八年ノ草案

第二百九十五條 式ニ依リ結ヒシ婚姻ヲ未タ解カサル前ニ更ニ再婚ヲ爲シタル夫若クハ婦若シ一方ノ者ノ配偶者アルヲ知り之ト再婚セシキハ二年ヨリ少カラサル禁獄ノ刑其他ノ場合ニ於テハ一年ヨリ少カラサル禁獄ノ刑ニ處セラル可シ

第二百九十六條 凡已婚人タルヲ知り之ト婚ヲ結ヒタル未婚人ハ六ヶ月以上ノ禁獄ニ處セラル可シ

第二百九十七條 凡戶籍官吏已婚人タルヲ知り其再婚ヲ許可セシキ及ヒ僧官已婚人タルヲ知り其再婚ヲ許可セシキハ前條ト同罪ニ處セラル可シ

○丟列支 千八百六十六年ノ草按

第百九條 未タ前婚ヲ解カサル中更ニ再婚ヲ爲ス夫若クハ婦及ヒ已婚人タルヲ知り之ト婚ヲ結フ未婚人ハ五年以下ノ徒刑ニ處セラル可シ
此重罪ヲ裁判上ニテ糺問スル期滿免除ハ夫婦中ノ一名其婚ヲ解キタル時ヲ以テ始メテ之ヲ行フ可シ

○印度

第四百九十四條 有夫者又ハ有妻者不法更ニ嫁娶スル者ハ七年ニ止ル各種ノ入獄ニ處シ且贖金ヲ料スル
例外 先ノ婚姻ヲ無効ト令シタル後又ハ先妻又ハ先夫七年間不在ナルカ或ハ七年間其生死ヲ知ラサルヲ以テ再婚ノ前ニ當テ能ク其知ル所ノ事實ヲ配偶トナル可キ者ニ通知シテ結婚スル者ハ該條ノ限ニ在ラス

第四百九十五條 配偶トナル者ニ先婚ノ事實ヲ隱シ

テ前條ノ罪ヲ犯ス者ハ十年ニ止ル各種ノ入獄ニ處
シ且贖金ヲ科ス

○墾地利 千八百五十二年五月二十七日布告

第二百六條 既ニ結婚セシ人更ニ他人ト婚姻ヲ爲ス
者之ヲ二重婚ノ重罪ト云フ

第二百七條 假令一人ハ未タ結婚セサルノ身ナリト
雖モ其配偶者ハ已ニ結婚シ定偶ヲ持セルノ狀ヲ知
テ更ニ之ト結婚セル者モ亦齊ク同上ノ重罪トス

第二百八條 本重罪ノ刑ハ一年以上五年以下ノ徒刑

トス然レモ該犯罪者其二重婚ヲ結ブノ人ニ對シ定
偶アルヲ秘セシニ於テハ之ヲ重徒刑トス

○加利堡爾尼

第二百八十一條 凡生存ノ夫若クハ生存ノ妻アリテ
他人ト婚スル者ハ下條ニ列記セル二件ヲ除クノ外
皆雙室罪ト爲ス

第二百八十二條 上條ノ罪ハ左ノ二件ニ及ハス

第一 其夫若クハ其妻他所ニ去テ五年マテニ見ヘ
ス其間毫モ其生存スルヲ知ラサル時

第二 充全審院ノ裁判ニ因テ其前婚既ニ廢弛離絶
解放セリト宣命セラレタル時

第二百八十三條 雙室罪ハ二千元以下ノ罰金ト三年
以下ノ禁固トヲ科ス

第二百八十四條 凡他人ノ夫タリ若クハ他人ノ妻タ
ルヲ知テ故ラニ之ト婚シ其夫若クハ妻タル者若
シ雙室罪ニ觸ル、キハ其之ト婚シタル者ハ二千元
以下ノ罰金若クハ三年以下ノ禁固ヲ科ス

第五十一 媒淫及ヒ其他風俗ヲ亂ス罪

○佛蘭西

第三百三十條 〔千八百六十三年第五〕公ケニ猥褻ノ所
行ヲ爲ス罪ヲ犯セシ者ハ三月ヨリ少カラス二年ヨ
リ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且十六フラ
ンクヨリ少カラス二百フランクヨリ多カラサル罰
金ノ言渡ヲ受ク可シ

第三百三十一條 〔千八百六十三年第五〕男女ヲ論セス
其十三歳以下ノ者ノ身體ニ對シ暴行ヲ加ヘスシテ
猥褻ノ所行ヲナシ又ハ之ヲ試ミ爲サントシタル者

ハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セララル可シ
十三歳以上ト雖モ婚姻ヲ結ヒテ未タ後見ヲ免カレ
サル幼者ノ身體ニ對シ其尊属ノ親ヨリ猥褻ノ所行
ヲ爲シ又ハ試ミ爲サントシタル者ハ同上ノ刑ニ處
セララル可シ

第三百三十二條

第二項 男女ヲ論セス人ニ對シ暴行ヲ以テ猥褻ノ
所行ヲナシ又ハ試ミ爲サントシタル者ハ徒刑場
内ニ於テ驅役スル刑ニ處セララル可シ
若シ滿十五歳以下ノ幼者ニ對シ此罪ヲ犯シタル

者ハ有期ノ徒刑ニ處セララル可シ

第三百三十三條

〔千八百六十三年第五〕若シ其犯人暴

行ヲ受ケシ者ノ尊属ノ親タル者又ハ其犯人其暴行
ヲ受ケシ者ノ指令ヲ爲ス者タル時又ハ其犯人其暴
行ヲ受ケシ者ノ授業師或ハ其雇入ノ僕婢タル時或
ハ其犯人其尊属ノ親ノ僕婢指令ヲ爲ス者ノ僕婢授
業師ノ僕婢タル時或ハ其犯人官吏又ハ僧徒タル時
或ハ其他何者ヲ論セス其罪ヲ犯スニ付キ一人又ハ
數人ノ助ヲ得タル時ハ第三百三十一條ノ首項ニ記
セシ場合ニ於テハ有期ノ徒刑ニ處セラレ前條ニ記

シタル場合ニ於テハ無期ノ徒刑ニ處セララル可シ

第三百三十四條 男女ヲ論セス二十一歳以下ノ幼者

ノ淫行ヲ誘起シ又ハ誘助シ又ハ容易ナラシム可キ

等ノ事ヲ爲スヲ常トシ風俗ヲ亂サント爲ス者ハ六

月ヨリ少カラヌ二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑

ニ處セラレ且五十「フランク」ヨリ少カラヌ五百「フ

ランク」ヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

若シ父母又ハ後見人又ハ其他幼者ヲ照管ス可キ任

ヲ受ケシ者其淫行ヲ誘起シ又ハ誘助シ又ハ容易ナ

ラシム可キ事ヲ爲シタル時ハ其犯人二年ヨリ少カ

ラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ

且三百「フランク」ヨリ少カラヌ千「フランク」ヨリ多カ

ラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第三百三十五條 前條ニ記シタル輕罪ヲ犯セシ者ハ

後見ノ職及ヒ管財人ノ職ヲ行フノ禁ヲ受ケ且親族

會議ニ列班スルノ禁ヲ受ク可シ但シ前條ノ首項ニ

記シタル犯人ハ二年ヨリ少カラヌ五年ヨリ多カラ

サル時間其禁ヲ受ケ前條ノ次項ニ記シタル犯人ハ

十年ヨリ少カラヌ二十年ヨリ多カラサル時間其禁

ヲ受ク可シ

若シ父母ノ其罪ヲ犯セシ時ハ民法第一篇第九卷ニ記シタル所ニ循ヒ其子ノ身體及ヒ財産等ニ對シ行フ可キ權利ノ剝奪ヲ受ク可シ何レノ場合ニ於テモ其犯人ハ裁判所ノ言渡ニ因リ政府ノ監察ヲ受ケシムルコトヲ得可シ但シ其期限ノ差別ハ此條ニ記シタル後見及ヒ管財人ノ職務ヲ行フノ禁及ヒ親屬會議ニ列班スルノ禁ヲ受クル期限ノ差別ト同一タル可シ

第二百八十七條 風俗ヲ亂ス可キ歌謠冊子畫圖肖像等ヲ展示セシ者又ハ分派セシ者ハ十六「フランク」ヨ

リ少カラス五百「フランク」ヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ケ且一月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ其歌謠冊子畫圖及ヒ其他ノ物ヲ彫刻シタル印版及ヒ印本ハ之ヲ沒收ス可シ

○獨逸

第七十四條 左ノ件々ニ於テハ五年ヨリ長カラサル徒刑ニ處ス可シ

第一 後見人其後見ヲ爲ス子ニ對シ風俗ニ關スル所行ヲ爲シ養父母養育父母養人ノ子ヲ預リ其子ニ

對シ風俗ニ關スル所行ヲ爲シ又僧官授業師其少年生徒受業師ノ家ニ入塾シ又ニ對シ同種ノ所行ヲ爲シタル時

第二 官吏ノ自ラ鞠問ヲ爲ス可キ人又ハ自ラ看守ス可キ人ニ對シ風俗ニ關スル所行ヲ爲シタル時

第三 健康ノ事務ニ附属スル官吏小吏醫師及ヒ其他ノ人又獄舍或ハ病人及ヒ無力貧窮ノ人及ヒ其他ノ人ヲ入ル可キ爲メニ設ケタル公館等ノ吏ノ其囚人及ヒ其入館人ニ對シ風俗ニ關スル所行ヲ爲シタル時

若シ酌量輕減ス可キ時ハ六月ヨリ短カラサル禁獄ニ處ス可シ

第七十五條 男子互ニ又ハ獸類ト天然ニ逆フタル淫行ヲ爲シタル者ハ禁獄ニ處シ仍ホ公權ヲ剝奪ス可シ

第七十六條 左ノ件々ニ於テハ十年ヨリ長カラサル徒刑ニ處ス可シ

第一 暴行ノ幫助ヲ得テ婦女ニ對シ風俗ニ關スル所行ヲ爲シ又ハ現ニ其婦女ノ身體及ヒ生命ニ對シ現今危難ニ及フ可ク恐嚇シ強テ其所行ヲ肯シ

セシメタル者

第二 精神昏迷シタル婦人及ヒ瘋癲病アル婦女ニ

對シ放恣ノ所行ヲ爲シタル者

第三 十四歳以下ノ人ニ對シ風俗ニ關スル所行ヲ

爲シ又其所行ヲ爲ス可ク決心セシメ又之ヲ肯ン

セシメタル者

若シ酌量輕減ス可キ時ハ六月ヨリ短カラサル禁獄

ニ處ス可シ

本條ノ罪ハ訴ヲ待テ論ス可シト雖モ若シ裁判官法

式ニ循ヒ着手セシ上ハ其訴ヲ解ク能ハサル可シ

第一百七十九條 婚姻ノ禮式ヲナシタルト欺キ又偽計

ヲ以テ未タ婚姻中ト信セシメ又其錯誤ヲ信シタル

ニ乘シテ其婦人ヲ擅ニ爲シタル者ハ五年ヨリ長カ

ラサル徒刑ニ處ス可シ

若シ酌量輕減アル片ハ六月ヨリ短カラサル禁獄ニ

處ス

訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第一百八十條 平常又ハ利ヲ得ル爲メニ容止シ又ハ補

助シ又ハ媒合シテ淫行ヲ容易ナラシメタル者ハ媒

合者トナシ禁獄ニ處シ其餘公權ヲ剝奪シ仍ホ政府

ノ監察ニ付ス可シ

第八十一條 媒合者ハ平常其事ヲ行ハス又其事ヨ

リシテ利ヲ得ルニ非サル時ト雖モ左ノ件々ニ於テ

ハ五年ヨリ長カラサル徒刑ニ處ス可シ

第一 若シ其淫行ヲ容易ナラシメン爲メ詐術ヲ行

フタル時

第二 若シ媒合者父母後見人僧官受業師等ノ其子

及ヒ生徒ニ對シ權アル如ク其者ニ對シ權ヲ有ス

ル者ナル時

徒刑ノ外公權ヲ剝奪シ仍ホ政府ノ監察ニ付ス可シ

第八十三條 公然ト猥褻ノ所業ヲ爲シタル者ハ二

年ヨリ長カラサル禁獄ニ處シ仍ホ公權ヲ剝奪ス可

シ

第八十四條 猥褻ノ書畫類ヲ或ル方法ヲ以テ販賣

シ又之ヲ分配シ又之ヲ廣メ又人民集會スル場所ニ

之ヲ出シ又之ヲ貼示シタル者ハ百「ターレル」ヨリ多

カラサル罰金又六月ヨリ長カラサル禁獄ニ處ス可

シ

○白耳義

第三百七十九條 凡常ニ人ノ色情ヲ鼓舞幫助シ或ハ

十四歳以上ノ幼者ニ男女放蕩淫欲ヲ飽カシメ風俗ヲ亂ス者ハ三月ヨリ二年迄ノ獄ニ處シ若シ幼者十四歳未滿ノ者ノ淫行ヲ爲サシムル者ハ二年ヨリ五年迄ノ同罪トス

第三百八十條 凡上條ノ犯十一歳未滿ノ者ニ關スル者ハ監役ニ處ス可シ其特ニ手ヲ試ムルノミノ者ハ無罪

第三百八十一條 凡幼者ノ尊族ノ親其尊長ノ者其教師婢僕或ハ尊族尊長教師等ノ婢僕官吏或ハ教僧ニシテ前條ノ犯ヲ爲ス者ハ第二百六十六條ニ依テ加

等ス可シ

第三百八十三條 凡風俗ヲ害スル書畫歌謠等ヲ販賣分派シ展示スル者ハ其印刷書寫ヲ論セス八日ヨリ六月迄ノ獄ニ處シ二十六フランクヨリ五百フランク迄ノ罰金ヲ命ス可シ

第三百八十四條 凡前條ノ犯ニ於テ書畫等ノ著作人タル者印刷師及ヒ他ノ方法ヲ用ヒテ再寫スルハ皆一月ヨリ一年迄ノ獄ニ處シ五十フランクヨリ一千フランク迄ノ罰金ヲ命ス可シ

第三百八十五條 凡衆目ヲ憚ラズ淫事ヲ爲ス者ハ八

日ヨリ一年迄ノ獄ニ處シ二十六「フランク」ヨリ五百

「フランク」迄ノ罰金ヲ命ス可シ

裸體ニシテ街路ヲ行ク等モ此類ナリ

第三百八十六條 凡此章ノ諸犯罪ハ尙ホ第三十一條

一三四及ヒ五ノ奪權ニ處スル「アリ

○埃及

第二百三十六條 暴行ヲ加フルニ非スシテ十一歳以

下ノ幼者ニ對シ猥褻ノ罪ヲ犯シタル者ハ六月ヨリ

少カラス三年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セ

ラル可シ

第二百三十七條 暴行ヲ以テ猥褻ノ罪ヲ犯シタル者

ハ其害ヲ被リシ者ノ何人タルヲ問ハス有期ノ徒刑

ニ處セラル可シ

第二百三十八條 前二條ノ場合ニ於テ害ヲ被リシ者

ノ教育或ハ照管ヲ爲ス可キ者又ハ之ヲ指令ス可キ

者ノ其罪ヲ犯シ又ハ害ヲ被リシ者ノ僕婢或ハ其教

育照管ヲ爲シ及ヒ其指令ヲ爲ス者ノ僕婢其罪ヲ犯

シタル時ハ其犯人五年ヨリ少カラサル時間徒刑ニ

處セラル可シ

第二百三十九條 既ニ成熟ノ齡ニ至リシ婦女ト婚姻

ス可キ約束ヲ以テ之ヲ欺キ其婦女ニ對シ猥褻ノ罪

ヲ犯シ然ル後ニ婚姻ヲ肯ンセサル者ハ其約束ノ證

書アリ又ハ本人自カラ其約束ヲ爲シタル旨ヲ陳述

シ其證アル時ハ六日ヨリ少カラス六月ヨリ多カラ

サル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第二百四十條 男女ヲ問ハス二十一歳以下ノ幼者ノ

淫行ヲ誘起シ又ハ誘助シ又ハ容易ナラシム可キ業

ヲ常トシ風俗ヲ亂ス者ハ一月ヨリ少カラス一年ヨ

リ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第二百四十一條 父母又ハ後見人右ノ罪ヲ犯シタル

時ハ六月ヨリ少カラス一年半ヨリ多カラサル時間

禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第二百四十七條 何人ニ限ラス公ケニ猥褻ノ罪ヲ犯

セシ者ハ三月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル時

間禁錮ノ刑ニ處セラレ且百ピアストルヨリ少カラ

ス千ピアストルヨリ多カラサル罰金ヲ言渡サル可

シ

第二百四十八條 男女ヲ問ハス十八歳以下ノ幼者ニ

猥褻ノ詞ヲ言掛ケタル者ハ縱令公ケニ之ヲ爲サス

ト雖モ一週ヨリ少カラス一月ヨリ多カラサル時間
禁錮ノ刑ニ處セラル可シ又其犯人右幼者ノ身體ニ
手ヲ掛ケタル時ハ一月ヨリ少カラス三月ヨリ多カ
ラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ但シ公ケニ猥
褻ノ罪ヲ犯セシ時其相當ノ刑ニ處セラル可キ規則
ト相觸ル、トナカル可シ

第七十二條 風儀ヲ亂ル可キ書類又ハ畫圖ヲ印刷
シ或ハ印刷セシメ或ハ之ヲ公ケニ頒布セシメシ者
ハ埃及ノ貨幣「リール」ヨリ少カラス五「リール」
ヨリ多カラサル罰金ヲ言渡サレ且二十四時ヨリ少

カラス一週ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラ
ル可シ

○英吉利

凡雞姦及ヒ獸姦ヲ犯ス者ハ並ニ重罪ニ坐シ十年ヨリ
終身ニ至ル徒罪ニ處斷ス雞姦セラる、者モ罪亦同
シ

若シ謀テ未タ成ラサル者ハ輕罪ニ坐シ五年ヨリ十
年ニ至ル徒罪ニ處シ或ハ二年ニ過キサル入獄ニ處
シ若クハ苦役ヲ加フ

凡淫事ヲ以テ衆人ニ示シ或ハ淫事ノ圖畫ヲ公然ト販賣シ若クハ店舗ニ見示スル者ハ輕罪ニ坐シ贖罪ニ處シ或ハ入獄ニ處ス若クハ贖罪入獄ヲ併用ス仍ホ判事ノ適意ニ依テ苦役ヲ加フ

○普魯士千八百五十一年四月十四日ノ刑法

第四百十二條 凡左ノ罪犯所行ヲ爲ス片ハ懲役五年以下「アルデンプルグ」ニテハ禁獄一年以上且民權ヲ剝奪ス

第一項 後見人其照管ヲ爲ス可キ少年ノ者ニ對シ

受業師僧徒及ヒ幼學師其教ユ可キ年少ノ學生若クハ私學生ニ對シ猥褻ノ罪ヲ犯シタル者

第二項 官吏其糾彈ス可キ人或ハ其支配ヲ爲ス可キ人ト猥褻所行ノ罪ヲ犯シタル者

第三項 官吏内科醫外科醫禁獄中或ハ官立ノ病院貧院或ハ他ノ鰥寡孤獨院中ノ務メニ任シテ若シ其院中若クハ獄中ニ在ル人ニ對シ猥褻所行ノ罪ヲ犯シタル者

第四百十七條 職業上或ハ私欲ヨリシテ淫行ノ媒介或ハ其許諾及ヒ其照管ヲ爲シ困テ一人又ハ數人ノ

男若クハ女ノ淫行ヲ幫成スル者ハ媒淫ト爲シ六ヶ月ヨリ少カラサル禁獄ノ刑並ニ有期ノ民權剝奪又ハ警察監視ヲ科ス可シ

第四百十八條 假令職業上又ハ私欲ニ出テスト雖モ

左ノ件ニ涉ル片ハ媒淫ト爲シ五年以内ノ徒刑并ニ

(ヲルデソノブルグノ刑法書第四百十一條ニ於テハ二年ヨリ少カラサル禁獄ノ刑ニ處シ并ニ民權ヲ剝奪ス)

警察監視ヲ科ス可シ

第一款 淫行ヲ幫助セン爲メニ陰ニ惡計ヲ施シタル時

ル時

第二款 犯者ト淫行ヲ爲サシメラレタル人トノ關

係父母ト其子女又ハ後見人ト其後見ヲ受ク可キ人及ヒ幼學師授業師僧徒ト其教育及ヒ教諭ヲ受ク可キ人ナル時

〇薩克索

第三百五十六條 凡過失ナキ貞操ノ女ヲ誑誘シテ他

人ト淫行ヲ爲サシムル者ハ三ヶ月以上一年以内ノ

禁獄ノ刑ニ處ス可シ又年齢十四歳以下十二歳以上

ノ子女已レノ妻下系ノ親族又ハ義血族ノ人教育ヲ

爲ス可キ子女照管ヲ爲ス可キ子女兄弟姉妹後見ヲ

爲ス可キ子女或ハ教育ス可キ人ニ對シ此重罪ヲ犯シタル乎或ハ職業上淫行幫助ヲ爲スニ因リ此重罪ヲ犯シタル片ハ四年以内ノ工役ノ刑ニ處ス可シ

○換塞千八百四十一年九月十七日ノ刑法

第三百三十二條 若シ十四歳以下ノ女ヲ誑キ其淫欲ヲ誘動シテ猥褻所業ノ罪ヲ犯シタル片ハ亦同上ノ刑ニ處セラレ可シ

第三百三十三條 凡教育父母後見人懺悔ヲ講スル和尙幼學師或ハ受業師タル者其教育ス可キ年少ノ者

照管ス可キ年少ノ者懺悔ヲ爲サシム可キ年少ノ者或ハ其學生ヲ誑誘シ及ヒ擅權ニ賴テ猥褻所行ノ罪ヲ犯シタル片若シ其誑誘擅權ヲ被リタル者十四歳以上ナル片ハ三ヶ月以内ノ懲治監或ハ四年以内ノ懲役ニ處ス可シ

第三百三十四條 凡瘋癲人愚人脫神健忘ノ人欲心ナキ人白痴人ニ向テ猥褻ノ所行ヲ爲シ其レヲ辱シムル者ハ前條ト同罪ニ依ル

第三百三十九條 職業トシテ他人ノ淫行ヲ照管シ或ハ幫成スル者ハ暫留若クハ久留ノ許諾或ハ誘起及

三 年ヨリ多カラサル懲治監ノ刑ニ處ス可シ
 三 百四十條 夫若クハ父母及ヒ祖父母或ハ第三百
 三十三條ニ掲ケタル人前條ノ主意ニテ其妻其子女
 其孫子其教育ヲ爲ス可キ子女其後見ヲ爲ス可キ人
 其懺悔ヲ爲サシム可キ子女或ハ其徒弟ノ淫行ヲ照
 管シ又ハ幫成スル片ハ三年ヨリ多カラサル懲治監
 ノ刑ニ處ス可シ若シ此事ヲ以テ職業ト爲ス片ハ三
 年以内ノ懲治監或ハ四年以内ノ徒刑ニ處ス可シ

○丟靈厄斯的丁

第 二 百 九 十 九 條 過失ナキ貞操ナル人ヲ誑誘シテ他
 人ト淫行ヲ爲サシムル片ハ三ヶ月以上六ヶ月以内
 ノ禁獄ノ刑ニ處ス可シ若シ已レノ妻又ハ他人ノ妻
 或ハ下系親族ノ者若クハ兄弟姉妹或ハ後見ヲ爲ス
 可キ人及ヒ徒弟又ハ懺悔ヲ爲サシム可キ子女或ハ
 監視ヲ爲ス可キ者或ハ囚人或ハ十四歳以下ノ子女
 ヲ誑誘シテ他人ト淫行ヲ爲サシムル片ハ六ヶ月以
 上四ヶ月以下ノ工役刑ニ處ス可シ

第 三 百 一 條 賣淫ヲ爲ス婦人ヲ人ニ媒介スル者又ハ

我カ宅内ニテ賣淫ノ業ヲ爲スヲ其婦ニ許諾スル者
 ハ三週間以上六週間以下ノ禁獄ノ刑ニ處ス可シ
 若シ他人ノ使用ニ供ス可キ爲メ婦人ヲ我カ宅内ニ
 蓄ヘ置キ或ハ婦人ヲ誘導シテ淫行ヲ爲サシメ營利
 ヲ計ル片ハ三ヶ月以上六ヶ月以下ノ禁獄ノ刑ニ處
 ス可シ若シ此兩場合ニ於テ若シ再犯ニ係ル片或ハ
 此條中各種ノ場合ニ於テ若シ婦人ノ風花病ニ惱ミ
 タルヲ了知シテ犯シタル片ハ六ヶ月以上一年以下
 ノ徒刑ニ處ス可シ

○不拉厄斯襪意危

第九十條 婦人ト他人トノ淫行ヲ許諾シ又ハ誑誘

シ及ヒ幫助スル者ハ即チ

第一款 若シ已レノ妻及ヒ子女或ハ後見ヲ爲ス可

キ子女徒弟又ハ懺悔ヲ爲サシム可キ子女或ハ監

視ヲ爲ス可キ者或ハ囚人又ハ十五歳以下ノ者ナ

ル片ハ一年以上ノ苦役ノ刑ニ處ス可シ

第二款 總テ此他ノ場合ニ在テハ三ヶ月以上一年

以下ノ苦役ノ刑ニ處ス可シ

若シ誘導セラレシ者雇人ナル片ハ一年以下禁獄ノ

刑ニ處ス可シ

若シ媒淫ヲ營業トスル片ハ刑ヲ加重ス可シ

○盧卑略千八百六十三年七月二十日ノ刑法

第一百十二條 凡五年以内ナル羈絆刑ニ處ス可キ者ハ

左ノ如シ

第一款 後見人其後見スヘキ年少ノ者又ハ授業師

僧徒及ヒ幼學師其教授ス可キ年少ノ學生及ヒ私

學生ト猥褻所業ノ罪ヲ犯シタル者

第二款 官吏糺彈ヲ爲ス可キ所ノ人或ハ其支配下

ノ人ト猥褻所行ノ罪ヲ犯シタル者

第一百十八條 職業上或ハ私欲ニ出テ媒介又ハ許諾又

ハ照管ヲ爲スニ因テ一人又ハ數人ノ男若クハ女ノ

淫行ヲ幫成スル者ハ媒淫ト爲シ六ヶ月以下禁獄ノ

刑並ニ警察監視ヲ科ス可シ同時ニ徒刑ニ係屬セル

刑(第十二條)ヲ被決者ニ申渡ス可シ但シ其期限ハ判

決中ニ詳定ス可シ又警視廳ニ於テ苦役ノ刑ヲ科ス

可キトヲ命シ得可シ而シテ其刑期ハ定期内ニテ之

ヲ科ス可シ

第一百十九條 假令職業上又ハ私欲ニ非スシテ淫行ヲ

媒介セシト雖モ若シ犯者ト淫行ヲ爲サシメラレタ
ル者トノ關係父母ト其子女後見人ト其後見ヲ受ク
可キ子女或ハ幼學師受業師及ヒ僧徒ト其教育訓導
ヲ爲ス可キ人ノ間ニ在リシ片ハ五年以下ノ羈絆ノ
刑ニ處シ且警察監視ヲ付ス可シ

〇昂不爾厄

第百五十九條 他人ト淫行ヲ爲サシメン爲メ婦人ヲ
誑誘シ或ハ容易ナラシメ又ハ幫助シ若クハ媒介ス
ル者ハ即チ

第一款 若シ誑誘セラレシ者其妻及ヒ子女或ハ其
他教授ス可キ者又ハ後見ス可キ者又ハ監視ス可
キ者ナル片ハ四年以内ノ徒刑ニ處ス可シ
第二款 其他ノ場合ニ於テ若シ誑誘セラレシ者過
失ナキ貞操ノ人或ハ十四歳以下ノ者或ハ未タ父
母ノ家若クハ後見人ノ家ヲ離レサル人ナル片ハ
一年以下ノ羈絆ノ刑ニ處ス可シ
此場合ニ於テ職業トシテ媒淫ヲ爲シタル片ハ其刑
ヲ加重ス可シ

○巴威也拉千八百六十一年九月十日ノ刑法

第二百十二條 凡教育父母及ヒ後見人其教育照管ス可キ年少ノ者ニ對シ或ハ僧徒其教導ス可ク若クハ讖悔ス可キ年少ノ者ニ對シ或ハ授業師及ヒ幼學師其教授ス可キ年少ノ者ニ對シ猥褻所行ノ罪ヲ犯シタル片ハ六ヶ月以上ノ禁獄ニ處セラル可シ

第二百二十條 本姦或ハ雞姦ニ依テ他人ニ淫欲ヲ遂ケシムル目的ノ爲メニ其權内ニ屬シ或ハ委託ヲ受ケシ人ヲ誑誘シ或ハ許諾シ之ニ依テ父母若クハ其他上系親屬教育父母後見人僧徒授業師又ハ幼學師

其子孫又ハ教育及ヒ後見ヲ爲ス可キ年少者或ハ説教ヲ爲ス可キ年少者若クハ懺悔ヲ爲サシム可キ年少者及ヒ學生ノ通義ヲ破毀シタル片ハ二年以上ノ禁獄ノ刑ニ處ス可シ又第二百十條ノ場合(義故ノ親屬)ニ於テハ一年以上ノ禁獄ノ刑並ニ第二百十二條ニ記載セシ屬刑(後見職ヲ執ルコト及ヒ公然タル授業師ヲ若クハ幼學師ノ職ヲ執ルコトヲ禁ス)ヲ併科ス可シ

上下同目的ノ爲メ或ハ營利ノ爲メ已レノ妻ヲ他人ニ誑誘シ或ハ許諾スル片ハ二年以上ノ禁獄ニ處ス可シ

第二百二十一條 凡第二百二十條ノ場合ノ外職業上
又ハ私欲ニ出テ一人若クハ數人ノ男若クハ女ノ淫
行ヲ媒介又ハ照管ニ依テ遂ケシムル者ハ二年以下
ノ禁獄ニ處ス可シ

註 千八百六十八年五月十六日ノ刑法書ニ依レハ

舊制ノ最短期ハ改メテ三ヶ月ト爲ス

媒淫者淫行ヲ幫成セン爲メニ偽計詐術ヲ施用シ或
ハ十八歳以下ノ過失ナキ貞操者ヲ淫行ニ誑誘セン
片ハ三年以下六ヶ月以上ノ禁獄ニ處ス可シ
此兩場合ニ於テハ禁獄ト一千「ギユルデン」以下ノ罰

金ヲ併科シ且警察監視ヲ付シ并ニ警視廳ニ拘留ス
ルヲ得可シ

○瓦爾敦巴爾厄

第三百三十八條 暫留又ハ久留ヲ許諾シ或ハ誑誘シ
或ハ媒介スト否トヲ問ハス職業トシテ他人ノ淫行
ヲ幫成スル片ハ媒淫ト爲シ一年以下ノ禁獄ニ處シ
且民權及ヒ職權ヲ剝奪ス可シ

第三百九條 父母祖父母或ハ第二百九十八條中ニ掲
ケタル人其子孫又ハ其教育ヲ爲ス可キ年少者若ク

ハ後見ヲ爲ス可キ年少者或ハ懺悔ヲ爲サシム可キ
年少者及ヒ私學生又ハ囑託セラレタル年少者ノ淫
行ヲ幫成スル片ハ八ヶ月以内ノ工役ノ刑ニ處ス可
シ若シ職業トシテ爲シタル片ハ二年以下ニ處ス可
シ
夫若シ其婦ヲ幫助シテ淫行ヲ爲サシムル片ハ同上
ノ刑ニ處ス可シ

○巴敦

第三百六十三條 許諾シ或ハ世話シ或ハ其他ノ媒介

ニ依ルト否トヲ問ハス職業トシテ他人ノ淫行ヲ幫
成シ或ハ容易ナラシムル者ハ警察廳ノ申立ニ依リ
媒淫ト爲シ二年以下ノ郡區禁獄又ハ工役ノ刑ニ處
ス可シ

第二百六十四條 營利ノ爲メニ其妻ノ淫行ヲ幫助シ
或ハ容易ナラシムル夫或ハ其子孫ノ淫行ヲ幫助シ
若クハ容易ナラシムル父母若クハ祖父母又ハ監視
或ハ教訓ス可キ年少者ノ淫行ヲ幫助シ若クハ容易
ナラシムル監視人並ニ教師ハ二年以下ノ工役ノ刑
ニ處ス可シ又重キ場合ニ在テハ一年以上二年以下

ノ徒刑ニ處ス可シ

○不來梅

第二百九十八條 職業上又ハ私欲ニ出テ媒介又ハ許諾又ハ照管ヲ爲シ依テ一人若クハ數人ノ男若クハ女ノ淫行ヲ幫成スル者ハ媒淫ト爲シ三ヶ月以上ノ禁獄ニ處ス可シ其他公職收用若クハ營業ヲ禁ス可シ

第二百九十九條 假令職業上又ハ私欲ニ出タルニア

ラスト雖モ媒淫者淫行ヲ爲サシメラレタル婦ノ夫

ナルモ又ハ媒淫者ト淫行ヲ爲サシメラレタル人ト

ノ關係第二百八十二條第二百八十三條第二百八十

六條ニ記載シタル如ク兄弟姊妹或ハ父母ト其子女

或ハ後見人ト其後見ヲ爲ス可キ年少者或ハ幼學師

授業師及ヒ僧徒ト其教育又ハ教導ヲ爲ス可キ年少

者ナル片ハ同上ノ刑ニ處ス可シ

此ノ如キ罪犯ニ對シテハ同時ニ後見職又ハ教授職

ヲ禁スルヲ申渡ス可シ

第三百條 假令職業上又ハ私欲ニ出ルニアラスト雖

モ媒淫者ト淫行ヲ幫成セシメラレン者トノ關係下

系血屬タル片ハ五年以内ノ徒刑ニ處ス可シ
第二百九十九條中ノ末項ニ記載セシ屬刑モ亦申渡
ス可シ

○墾地利千八百六十七年ノ草案

第九十九條 左ノ方法ニ從ヒ故意ニテ媒介シタル
者ハ媒淫ノ罪ト爲ス即チ

第一款 他人ニ淫行ヲ遂ケシムル爲メ過失ナキ貞
操ノ人或ハ照管ヲ爲ス可キ人ヲ差出シ或ハ誘引
シ或ハ許諾シ或ハ其好機ヲ世話スル者

第二款 淫行ヲ營業トスル婦人タルヲ知テ我宅内
ニ住居セシメ或ハ止宿セシメ或ハ隱賣ヲ爲サシ
メ或ハ其他ノ好機ヲ世話スル者

第二百條 前條ト同シキ方法ニテ

第一款 父母其子女ヲ媒介スル片即チ其子ヲ媒淫
ノ器具ト爲ス時

第二款 其他媒淫者ノ指揮ヲ受テ可キ人或ハ媒淫
ニ因リ淫欲ヲ遂ル人ノ指揮ニ從テ可キ人ヲ媒介
スル時

第三款 過失ナキ人ヲ媒介スル時

此場合ニ於テハ媒淫ノ重罪ト爲シ一年以上四年以下ノ徒刑ニ處ス可シ然レ此他ノ場合ニ於テハ輕罪ト爲シ四ヶ月以上一年以下ノ禁錮ノ刑ニ處ス可シ

○丟列支

第一百十二條 職業上或ハ私欲ニ出テ媒介或ハ許諾又ハ好機ヲ世話スルトニ依テ淫行ヲ幫成スル者ハ媒淫ト爲シ一年以下ノ禁獄ノ刑及ヒ一千フランクノ罰金ヲ科ス可シ

第一百十三條 假令職業上又ハ私欲ニ出テ媒淫セシニアラスト雖モ左ノ場合ニ於テハ工役ノ刑ニ處ス可シ

第一款 淫行ヲ幫成センカ爲メニ偽計詐術ヲ用ヒタル時或ハ淫行ヲ幫成センカ爲メニ偽計詐術ニ依リ十四歳以下ノ過失ナキ人ヲ誑誘シタル時
第二款 媒淫者ト淫行ヲ爲サシメラレタル人トノ關係父母ト其子女或ハ後見人ト其後見ヲ爲ス可キ年少者或ハ僧徒幼學師及ヒ授業師ト其學校生及ヒ徒弟ナル時

○墾地利月千八百五十二年五月二十七日布告

第一百二十九條 下ニ掲クル猥褻ノ所行ハ重ヲ以テ之ヲ論ス可シ

(第一) 左ノ各件ヲ天性ニ背キシ犯姦ト爲ス

第一項 動物ニ淫スル者獸姦

第二項 同生相姦スル者男女或ハ男女相姦

第一百三十條 其刑ハ一年乃至五年ノ重徒タル可シ然レモ前條第二項ノ所犯ニ於テ第一百二十五條ニ記セシ方法ノ一ヲ用ヒシ者ハ之ヲ五年乃至十年ノ

重徒刑ニ處シ第一百二十六條ニ記セシ情狀ノ一アル者ハ即チ該條ニ示セシ法ニ照シテ處刑ス可シ
第一百三十二條

(第三) 已レニ其監護養生若クハ其教導ヲ任セラレタル人ヲ誘導シテ猥褻ノ所行ヲ爲サシメ若クハ之ヲ肯ンセシメシ者之ヲ猥褻ノ所行ニ誘導スル罪ト爲ス

(第四) 善良ノ人ヲ誘引シテ之ニ淫行ヲ媒セシ者或ハ父母後見人養育師若クハ教導師ニシテ兒子後見主若クハ其養育或ハ教導ヲ任セラレタル人ニ

淫行ヲ媒セシ者之ヲ媒淫ト爲ス

第一百三十三條 前條ニ記セシ重罪ノ刑ハ一年乃至

五年ノ重徒刑タル可シ

第五百條 立法保護上ニ於テ倫理害戕ノ罪ト名ツク

ルモノハ啻ニ人ヲシテ慘慄憤怒ヲ抱カシム可キ所

業ヲ謂フノミナラス爾他凡ソ某所業ノ性質ニ於テ

風俗陵夷ヲ招キ或ハ其末大抵終ニ非法蕩冶ニ至ル

可キモノ皆本罪ニ算入シテ注意ス可キトス

故ニ左ノ如キモノハ世ノ風俗倫理ヲ妨害スル輕罪

違式罪トシ處刑ス可シ

〔イ〕 不品行

〔ロ〕 淫風ヲ生ス可キ倫理戕賊ノ所業

〔ハ〕 乞丐

〔ニ〕 禁制ノ遊戲

〔ホ〕 醉狂

〔ヘ〕 爾他蓄キ猥褻ノ所業

第五百七條 豫メ成規ノ許可ヲ受ケス又成法ニ從テ

結婚シ能ハサル障碍ヲ默止シテ妄リニ其約ヲ結ヒ

或ハ國法ニ於テ結婚シ能ハサル者外國ニ於テ婚姻

ヲ爲ス片ハ違式罪トシ三月以上六月以下重禁獄但

シ誘誑スル者ハ殊ニ其嚴刑ナルヲ常トス

第五百八條 父母若シ其威ヲ妄施シ其子ヲ強テ非法ノ婚姻ヲ結ハシムル片ハ之ヲ違式罪トシ齊シク前條ノ刑ニ處ス可シ

第五百九條 凡身ヲ以テ猥褻ノ所業ニ委シ之ヲ職業トスル者ノ刑ハ各所警察廳ノ管スル處トス然レモ娼妓若シ公然甚シキ法外ノ所業ヲ犯シ或ハ少年ノ徒ヲ誘惑シ又ハ躬己ニ黷毒ノ傳染セルヲ知テ猶ホ賣淫ノ業ヲ止メサル片ハ違式罪トシ一月以上三月以下重禁獄ニ處ス可シ

第五百十條 賣淫ノ業ヲ爲ス者己ニ結婚セシ者ニ係ル片ハ假令其男告訴セスト雖モ仍ホ處刑前條ニ下ル可ラス唯定約アル者ニシテ賣淫ヲ爲スト己ニ加等ノ情狀トシ判ス可シ

第五百十一條 之ヲ吟味スルニ男若シ其妻ニ許諾シテ賣淫ヲ爲サシメ自ラ其事ニ連累スルカ或ハ公然其所業ヲ爲サシメ以テ利ヲ營ムト發覺セル片ハ之ヲ違式罪トシ三月以上六月以下重禁獄ニ處ス可シ但シ情狀ニ從ヒ尙ホ苛嚴ヲ加フルトアル可シ

第五百十二條

〔甲〕 自宅ニ於テ許可ナク賣淫ノ業ヲ營マシムル爲
メ娼妓ヲ引テ止宿或ハ潛伏セシムル者

〔乙〕 其賣淫ニ供ス可キ婦女ヲ輸送スル者

〔丙〕 其他凡右ノ如キ淫賣ノ媒介ヲ相爲ス者

第五百十三條 前條違式罪ノ刑ハ三月ヨリ少カラス

六月ヨリ多カラサル重禁獄トス然レモ該犯人已ニ

久ク其所業ヲ爲セシ片ハ之ニ苛嚴ヲ加フ可シ

第五百十四條 媒介ノ違式罪ヲ以テ已ニ處刑セラレ

シ者再犯ヲ爲セシ片ハ更ニ處刑ノ期ヲ了シ後其住

所ヲ放逐ス可シ若シ外國人ナル片ハ澳國統轄ノ全

域外ニ追放ス可シ

第五百十五條 第五百十二條ニ掲載セル媒介違式罪

ノ外逆旅若クハ飲酒舖ノ主長賣淫ノ媒介ヲ爲ス片

ハ之ヲ違式罪トシ二十五^五グルデン以上二百^百グルデ

ン以下ノ罰金ニ處ス可シ自後若シ猶ホ依然ト其淫

賣ヲ爲ス片ハ逆旅若クハ飲酒ノ營業ヲ禁止シ將來

長ク本業ニ就ク能ハサルトヲ申渡ス可シ然レモ該

舖ノ主長預知セス其婢自ラ本違式罪ヲ犯ス片ハ該

婢八日以上三月以下禁獄ニ處セラル可シ

第五百十六條 凡畫繪或ハ淫奔ノ所業ニ依テ大ヒニ

世人ノ風儀品行ヲ害戕スル者ハ違式罪トシ八日以
上六月以下重禁獄ニ處ス可シ然レモ其害戕ノ所業
印刷書ニ係ル片ハ輕罪トシ六月以上一年以下ノ重
禁獄

○印度

第三百七十二條 姦淫ニ用フルノ目的ヲ以テ又ハ姦
淫ニ用ヒラル、ヲ知テ賣貸等ヲ爲ス者ハ十年ニ止
ル各種ノ入獄ニ處シ且贖金ヲ科ス

第三百七十三條 姦淫ニ用フルノ目的ヲ以テ又ハ姦

淫ニ用ヒラル、ニ至ルヲ知テ十六歳以下ノ幼者ヲ
買雇等爲ス者ハ十年ニ止ル各種ノ入獄ニ處シ且贖
金ヲ科ス

第三百七十七條 故ラニ男或ハ女ヲ雞姦シ或ハ獸ヲ
姦スル者ハ十年ニ止ル各種ノ入獄ニ處シ且贖金ヲ
科ス

説明 此條ノ犯罪ハ陰莖ヲ入ルヲ以テ姦ヲ成スニ
足レリトス

第四百九十三條 法律上已ト結婚セサル婦人ヲ欺キ
法律上已ト結婚シタリト信シ已ト同居又ハ交合セ

シムル者ハ十年ニ及フ各種ノ入獄ニ處シ且贖金ヲ科ス

第四百九十六條 自ラ已レ法律ニ依テ婚姻ヲナスニ非サルヲ知リ婚姻ノ禮ヲ行ヒ了ル者ハ七年ニ止ル各種ノ入獄ニ處シ且贖金ヲ科ス

第四百九十八條 人ノ妻タルヲ知リ又ハ之ヲ信スルノ理由ヲ有シ不法ノ姦通ニ處スルノ意ヲ以テ其人ヨリ或ハ其人ノ爲メニ其妻ヲ看護スル人ヨリ人ノ妻ヲ誘取シ又ハ如此意ヲ以テ人ノ妻ヲ隱匿或ハ拘制スル者ハ二年ニ止ル各種ノ入獄若クハ贖金ニ處

シ又ハ入獄贖金ヲ兩用シテ之ヲ罰ス可シ

第五百九條 婦人ノ節ヲ損スルノ意ヲ以テ婦人ノ見聞スル所ニ於テ言語動作シ又ハ物ヲ示シ或ハ婦人ノ獨居所ヲ侵ス者ハ一年ニ止ル各種ノ入獄若クハ贖金ニ處シ又ハ入獄贖金ヲ兩用シテ之ヲ罰ス可シ

第二百九十二條 淫猥ノ書ヲ販賣ス

販賣貸借ノ爲メニ淫猥亂俗ノ書畫小説圖形ヲ配分輸入出版シ又ハ故意ヲ以テ此等ヲ公示シ或ハ如斯事ヲナサントスル者ハ三個月ニ止ル各種ノ入獄若クハ贖金ニ處シ又ハ入獄贖金ヲ兩用シテ之ヲ罰ス

可シ

○加利堡爾尼

第二百六十六條 凡娼妓ト爲サント欲シテ是レ姦セ

ルニ非ス唯娼妓ト爲シテ以テ未タ嘗テ汚行アラサル者ヲ挑誘騙引シテ惡聲ノ

家媾歡ノ樓及ヒ其他不良ノ所ニ入ラシムル者或ハ

這樣ノ所業ヲ幫助スル者及ヒ假冒偽説若クハ其他

ノ騙詐伎倆ヲ以テ婦女ノ犯姦ヲ致ス者ハ是レ利ヲ

賭ニスル者ヲ言フ即チ娼妓ト爲ス者ヲ言フニ非サル

リナ並ニ五年以下ノ禁固若クハ一年以下ノ禁固ヲ科
シ若クハ一千元以下ノ罰金ヲ命シ或ハ右二刑ヲ併
科ス

第二百八十六條 凡ソ人若クハ獸類ヲ非理姦スル者
ハ五年以下ノ禁固ヲ科ス

第二百八十七條 其姦偶ノ身ヲ干瀆スルト縱ヒ甚々
輕微ナルモ苟モ其事ニ及フ片ハ既ニ非理姦罪ヲ成

スニ足ルト爲ス

七八二一 第三百十一條 凡故ラニ左ノ醜態ヲ爲ス者ハ小罪ト
爲ス

第一 顯處若クハ他人ノ面前ニ於テ肌膚若クハ隱

部ヲ露ハシテ以テ人ヲ嘔吐厭惡セシムル者

第二 人ノ其肌膚隱部ヲ衆觀若クハ衆人ノ面前ニ

露ハシ或ハ良儀ヲ壞リ淫心淫行ヲ煽動ス可キ偶

像ヲ展觀シ或ハ其他ノ態度ヲ以テ裸程ヲ衆ニ示

スヲ誘助指開シ若クハ是ニ致ス者

第三 淫佚猥褻ノ文書冊子ヲ著述編成極板鏤板發

行販賣頒配貯保展觀シ若クハ淫佚猥褻ノ圖畫鏤

板ヲ草稿謄寫描繪墨畫油畫ヲ編成シ若クハ淫佚

猥褻ノ偶像ヲ型作彫刻鑄造製成スル者

第四 這樣ノ文書冊子圖畫印刷若クハ偶像ノ廣告

報知書若クハ墮胎ヲ發起催促スルノ廣告報知書

ヲ著述編成發行スル者

第五 淫佚猥褻ノ詩章鄙歌及ヒ其他ノ辭章ヲ顯處

或ハ衆人ノ面前ニ唱フテ之ヲ厭惡セシムル者

第三百十二條 凡上條第三項ノ罪犯ヲ拿捕スルヲ

命セラレタル人氏ハ又其罪犯ヲ貯藏監保セル淫佚

猥褻ノ文書冊子圖畫鏤板偶像ヲ追奪シテ其罪犯ノ

押送ヲ收受スル保安官吏ニ之ヲ交付スルノ權アリ

第三百十三條 上條ノ文書冊子圖畫鏤板偶像ヲ交付

セラレタル保安官吏ハ其罪犯ヲ調査スル時若クハ
障碍アリテ其調査遅延ス可キ片ハ調査ノ時ヲ待ツ
トヲ要セス直チニ其文書冊子圖畫鏤板偶像ノ品性
ヲ決定シ果シテ淫佚猥褻ノ者タル片ハ其一部ヲ其
罪犯ノ告罪審問セラル可キ郡ノ區代言官ニ送り其
餘ハ即時ニ悉ク之ヲ破棄ス應シ

第三百十四條 此罪犯既ニ決罪セラル、片ハ上條ノ
區代言官直チニ其領置管保スル所ノ淫佚猥褻ノ文
書冊子圖畫鏤板偶像ヲ破棄ス應シ

第三百十五條 凡本州中ニ於テ賣色淫佚ニ充用スル

汚名ノ家ヲ有シ若クハ故ラニ這樣ノ家ニ住スル者
ハ小罪ト爲ス

第三百十六條 凡猥褻不正ノ家若クハ雜客來遊ノ家
ヲ有シテ常ニ比隣ノ平穩愉安靜肅ヲ攪擾シ若クハ
猥褻不正ノ客舍ヲ開ク者ハ小罪ト爲ス

第五百二十八條 凡某ノ人氏ヲ扮冒シテ人ニ婚シ若
クハ婚セリト假冒シ若クハ夫妻ノ姻縁ヲ保テリト
假冒スル者ハ某氏ノ之ヲ黠縱セルト否ヤトヲ論セ
ス大罪ト爲ス

第五十二 幼者ヲ和誘或ハ畧誘スル罪

○佛蘭西

第三百五十四條 詐計又ハ暴行ヲ以テ幼者ヲ誘拐シ
又ハ誘拐セシメタル者又ハ幼者ヲ其指令或ハ照管
ヲ爲ス者ノ置タル場所ヨリ他所ニ誘出シ又ハ他所
ニ出行セシメ又ハ其誘出或ハ出行ヲ爲サシメタル
者ハ徒刑場内ニ於テ使役スル刑ニ處セラレ可シ

第三百五十五條 若シ滿十六歳以下ノ女ヲ誘拐シ又
ハ誘出セシ時ハ其犯人有期ノ徒刑ニ處セラレ可シ
第三百五十六條 十六歳以下ノ女自カラ誘拐ヲ受ク

ルヲ肯シタル時又ハ其女自己ノ意ヲ以テ誘拐者ニ
隨行セシ時其誘拐シタル者二十一歳以上ナルニ於
テハ有期ノ徒刑ニ處セララル可シ

若シ其誘拐シタル者二十一歳以下ナル時ハ二年ヨ
リ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處
セララル可シ

第三百五十七條 誘拐者其誘拐シタル女ヲ妻ト爲ス
時ハ民法ニ循ヒ其婚姻ノ取消ヲ爲ス可キノ求ヲ爲
ス權アル者ノ外其罪ヲ訴フ可カラス又其婚姻ヲ取
消スノ言渡ヲ爲タル後ニ非サレハ其誘拐者ヲ刑ニ

處ス可ラス

○獨逸

第二百三十四條 計畧恐嚇暴行ヲ以テ人ヲ掠奪シテ
窘窮切迫セシメ又ハ奴僕買奴ノ類トナシ又ハ外國
ノ海陸軍隊ニ編入セシメタル者ハ誘拐ノ罪トナシ
徒刑ニ處ス可シ

第二百三十五條 計略恐嚇暴行ヲ以テ父母及ヒ後見
人其幼者ヲ誘拐シタル者ハ禁獄ニ處シ若シ其人ヲ
シテ乞丐ヲ爲サシメ又ハ利欲トナルノ所業又ハ風

俗ニ關スル惡業ヲ爲サシメントスルノ目的ニテ之
レヲ誘拐シタル者ハ十年ヨリ長カラサル徒刑ニ處
ス可シ

第二百三十六條 婦人ナシテ淫行ヲ爲サシムル爲メ
其承諾ヲ待タス計略恐嚇暴行ヲ以テ之レヲ誘拐シ
タル者ハ十年ヨリ長カラサル徒刑ニ處シ若シ婚姻
ヲ契約セシムル爲メニ之レヲ誘拐シタル時ハ禁獄
ニ處ス可シ

但シ訴ヲ待ツテ其罪ヲ論ス可シ

第二百三十七條 本人ノ承諾アルト雖モ其父母及ヒ

後見人ノ承諾ナクシテ淫行ヲ爲サシメ又ハ婚姻ヲ
契約セシムルノ目的ニテ未タ婚姻ヲ結ハサル幼女
ヲ誘拐シタル者ハ禁獄ニ處ス可シ
但シ訴ヲ待ツテ其罪ヲ論ス可シ

第二百三十八條 誘拐スル者其誘拐シタル者ヲ妻ト
シタル時ハ其婚姻ノ法ニ適セサルヲ出訴シタル
後ニ非ラサレハ其罪ヲ論ス可ラス

○白耳義

第三百六十四條 凡七歳未滿ノ兒ヲ誘拐スル者若ク

ハ誘拐セシムル者ハ和誘スル者ト雖モ監役ニ處ス可シ

第三百六十八條 凡強暴詐計若クハ恐喝ニ依テ幼者

ヲ誘拐スル者或ハ誘拐セシムル者ハ一年ヨリ五年

マテノ獄ニ處シ五十「フランク」ヨリ五百「フランク」マ

テノ罰金ヲ命ス可シ尚ホ第三十三條ノ奪權ニ處ス

ル「アリ

第三百六十九條 凡前條ノ如ク十六歳未満ノ女子ヲ

誘拐スル者ハ監役ニ處ス可シ

第三百七十條 凡十六歳未満ノ女子父母後見人等ノ

權下ニ在ル者ヲ和誘スル者或ハ和誘セシムル者ハ

其女子自ラ誘ニ從フト雖モ誘拐人成年ナレハ二年

ヨリ五年マテノ獄ニ處シ五十「フランク」ヨリ五百「フ

ランク」マテノ罰金ヲ命シ尚ホ第三十三條ノ奪權ニ

處スル「アリ若シ誘拐者幼年ナレハ三月ヨリ一年

マテノ獄ニ處シ五十「フランク」ヨリ三百「フランク」マ

テノ罰金ヲ命ス可シ

第三百七十一條 凡誘拐シテ其女子ヲ娶ル者及其誘

拐ニ力ヲ加フル者ハ皆婚姻廢止ヲ判決スル後ニ非

レハ裁判ヲ爲ス可カラス

○埃及

第二百五十四條 詐偽又ハ暴行ニ因リ未タ成熟ノ齡

ニ至ラサル幼者ヲ拐引セシ者ハ三月ヨリ少カラス

一年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第二百五十五條 若シ未タ成熟ノ齡ニ至ラサル女ヲ

拐引シタル者ハ其犯人有期ノ徒刑ニ處セラル可シ

第二百五十六條 其拐引セシ女ニ對シ猥褻ノ罪ヲ犯

シタル時ハ其犯人猥褻ノ罪ヲ罰スル刑中ノ至重ノ

刑ニ處セラル可シ

第二百五十七條 何人ニ限ラス暴行ヲ以テ既ニ成熟

ノ齡ニ至リシ女ヲ拐引シタル者ハ三月ヨリ少カラ

ス三年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可

シ○若シ夫アル婦ヲ拐引シタル時ハ其犯人有期ノ

徒刑ニ處セラル可シ

第二百五十八條 成熟ノ齡ニ至リシト否トヲ問ハス

暴行ヲ以テ婦女ヲ拐引スル犯人ヲ助ケシ者ハ六月

ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ

處セラル可シ

第二百五十九條 若シ拐引者其拐引セシ女ヲ相當ノ

法式ニ循ヒ娶リタル時ハ之ヲ拐引ノ刑ニ處ス可カ
ラス只雙方本人ノ身分ヲ規定スル民法ヲ適用ス可
キノミトス但シ此事ニ付テハ「セリー」ノ法律ニ定メ
シ規則ヲ適用ス可シ

○英吉利

凡年十四歳以下ノ幼孩ヲ略取誘引シ若クハ隠閉シ因
テ己ノ子女ト爲サント謀リ或ハ其衣服等ヲ剝奪セ
ント欲スル者ハ並ニ重罪ニ坐シ五年ヨリ七年ニ至
ル徒罪ニ處シ或ハ二年ニ止ル入獄ニ處シ若クハ苦

役ヲ加フ

若シ畧誘ノ情ヲ知テ受寄隠匿スル者モ罪亦同シ若
シ年十六以下ノ者之ヲ犯セハ判事ノ適意ニ依テ打
背罪ヲ加フ

凡世襲ス可キ及ヒ財産アル所ノ人ノ長女ヲ利ヲ圖リ
畧誘隠閉シテ姦汚セントシ若クハ其妻ニ爲サント
謀リ或ハ他人ニ婚姻セシメ姦汚セシメント謀リ或
ハ二十一歳以下ノ女ヲ誑誘隠閉シ因テ妻若クハ姦
汚セント謀リ或ハ人ノ女ヲ強畧スル者ハ並ニ重罪
ニ坐シ五年ヨリ十四年ニ至ル徒罪ニ處シ或ハ二年

ニ過キサル入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ
 若シ年十六以下ノ幼女ヲ其父母若クハ後見等ノ意
 ニ違ヒ畧誘シ若クハ人ヲシテ畧誘セシメタル者ハ
 縱ヒ姦汚セントシ或ハ妻ト爲サントスルノ意ナシ
 ト雖モ輕罪ニ坐シ二年ニ至ル入獄ニ處シ若クハ苦
 役ヲ加フ

○印度

第三百五十九條 拐去ニ二種アリ英領印度外ニ人ヲ
 拐去スル其一ナリ合法ノ保護外ニ人ヲ拐去スル其

二ナリ

第三百六十條 其人ノ承諾又ハ法律ニ於テ其人ノ爲
 ニ承諾スルノ權アル人ノ承諾ヲ經ス人ヲ英領印度
 外ニ移ス之ヲ英領印度外ニ人ヲ拐去スト云

第三百六十一條 十四歳未滿ノ男子十六歳未滿ノ女
 子若クハ喪心者ヲ其合法ノ後見人ノ承諾ナクシテ
 誘取スル之ヲ合法ノ保護外ニ人ヲ拐去スト云
 説明合法ノ後見人トハ法律上幼兒又ハ喪心者ヲ看
 護スルノ任アル人ヲ含テ云

例外所爲ヲ行フ不正不法ナラス眞實己レ私生兒ノ

父或ハ其ヲ信シ或ハ法律上之ヲ看護スルノ任アルト
信スル人ノ所爲ハ此條ノ限ニ在ラス

第三百六十二條 人ヲ拐擄誘取スル之ヲ誘略ト云

第三百六十三條 英領印度若クハ合法ノ保護外ニ人

ヲ拐去スル者ハ七年ニ止ル各種ノ入獄ニ處シ且贖

金ヲ科ス

第三百六十四條 其人ヲ謀殺スルカ爲メニ或ハ其人

ヲ謀殺ノ危ニ處スルカ爲メニ人ヲ拐去誘畧スル者ハ

終身流若クハ十年ニ止ル加苦役入獄ニ處シ且贖金

ヲ科ス

第三百六十五條 非法隱密ニ人ヲ拘制スルヲ圖リ之

ヲ拐去誘略スル者ハ七年ニ止ル各種ノ入獄ニ處シ

且贖金ヲ科ス

第三百六十六條 強テ妻トナシ或ハ姦汚センカ爲メ

又ハ強テ妻トナサレ或ハ姦汚セララル、ニ至ルヲ知

テ婦人ヲ拐去誘略スル者ハ十年ニ止ル各種ノ入獄

ニ處シ且贖金ヲ科ス

第三百六十七條 其人ヲ重損奴隸或ハ鷄姦ニ委シ又

ハ此等ノ事ニ委セララル、ノ危ニ處スルカ爲メ又ハ

此等ノ事ニ委セラレ或ハ委セララル、ノ危ニ處セラ

ル、ニ至ルヲ知テ人ヲ拐去誘略スル者ハ十年ニ止
ル各種ノ入獄ニ處シ且贖金ヲ科ス

第三百六十八條 其拐去誘略セラレタルヲ知テ不法
ニ人ヲ隱匿或ハ拘制スル者ハ拐去誘略スル者ト同
罪之ヲ審決スルハ或ハ隱匿拘制ノ地ニ於テシ或ハ
拐去誘略ノ地ニ於テスルヲ得可シ

第三百六十九條 其身ニ屬スル財物ヲ盜ムノ意ヲ以
テ十歳以下ノ兒ヲ拐去誘略スル者ハ七年ニ止ル各
種ノ入獄ニ處シ且贖金ヲ科ス

第三百七十條 其意ニ逆ヒ人ヲ奴隸トシテ賣買運移

授受輸入輸出スル者ハ七年ニ止ル各種ノ入獄ニ處
シ且贖金ヲ科ス

第三百七十一條 常ニ人ヲ奴隸トシテ賣買運移輸入
輸出スル者ハ十年ニ止ル各種ノ入獄ニ處シ且贖金
ヲ科ス

第三百七十四條 其意ニ逆ヒ不法強テ人ヲ使役スル
者ハ一年ニ止ル各種ノ入獄若クハ贖金ニ處シ又ハ
入獄贖金ヲ兩用シテ之ヲ罰ス可シ

○加利堡爾尼

第二百七條 凡威力ヲ以テ本州ノ人ヲ盜奪略取捕捉
 シテ他國他州他郡ニ送致シ若クハ人ヲ本州外ニ送
 致スルノ企圖アリテ肯テ聯邦若クハ本州ノ法律ヲ
 以テ其要求ヲ申告セス威力ヲ以テ之ヲ略取捕捉シ
 若クハ本州ノ人ヲ賣テ奴隸若クハ悟願ノ傭夫トセ
 シテ欲シ若クハ其情願ニ戻リ其協同ヲ取ラスシ
 テ之ヲ己レニ使役シ若クハ宅人ノ使役ニ供センコ
 ト欲シ乃チ偽約詐言等ヲ以テ之ヲ雇取勸誘拘引騙
 惑挑唆シテ本州ヲ去ラシメ若クハ本州外ニ略引轉
 移セラレシムル者ハ並ニ大罪トス

第二百八條 略奪罪ハ一年以上十年以下ノ禁固ヲ科
 ス

第二百六十五條 凡不適法ニ婦女ヲ拐取シ威力驚嚇
 若クハ勒迫ヲ以テ其情願ニ忤フテ之ニ已ト婚シ若
 クハ人ト婚スルコトヲ強ヒ或ハ之ニ汚行ヲ取ルコトヲ
 強ル者ハ並ニ二年以上十四年以下ノ禁固ヲ科ス

第二百六十六條 凡娼妓ト爲サント欲シテ 是レ姦セ
 ルニ非ス唯娼妓ト爲シテ以テ 未滿二十五歳ノ處女
其利ヲ得ント欲スル者ナリ ノ未タ嘗テ汚行アラサル者ヲ挑誘騙引シテ惡聲ノ
 家媾歡ノ樓及ヒ其它不良ノ處ニ入ラシムル者或ハ

這樣ノ所業ヲ幫助スル者及ヒ假冒偽說若クハ其它

ノ騙詐伎倆ヲ以テ婦女ノ犯姦ヲ致ス者ハ

是レ利ヲ
衛ヒ婚ヲ

賭ニスル等ノ術ヲ以テ婦女ヲ騙引シ之カ姦通ノ媒
ヲ行フ者ヲ言フ即チ娼妓ト爲ス者ヲ言フニ非サル

ト並ニ五年以下ノ禁固若クハ一年以下ノ禁固ヲ科

シ若クハ一千元以下ノ罰金ヲ命シ或ハ右二刑ヲ併

科ス

第二百六十七條 凡娼妓ト爲サント欲シ其父母保人

若クハ合法ノ看護人ノ協同ヲ得スシテ十八歳未滿

ノ女ヲ拐取シ去ル者ハ五年以下ノ禁固ト一千元以

下ノ罰金トヲ併科ス

第二百七十八條 凡害意アリテ未滿十二歳ノ幼者ヲ

其父母保人若クハ適法ノ看護人ノ手ヨリ奪フテ之

ヲ阻留隱匿セント欲シ乃チ威力若クハ詐術ヲ以テ

之ヲ拐取騙引スル者ハ十年以下ノ禁固ヲ科シ若ク

ハ一年以下ノ禁固ト五百元以下ノ罰金トヲ併科ス

第五十三 民生ノ證ヲ妨ル犯罪

○佛蘭西

第三百四十五條 (千八百六十三年五月十三日如左改

ム)小兒ヲ誘拐シ又ハ藏匿シ又ハ子ノ出産ヲ隱蔽シ
テ身上証書ノ官吏ニ告ケス又ハ此子ヲ以テ彼子ト
交替シ又ハ子ヲ産マサル婦ニ子ヲ産ミタルト言掛
ル罪ヲ犯シタル者ハ徒刑場内ニ於テ使役スル刑ニ
處セララル可シ

五一三一

若シ其子ノ現ニ生存シタル證ノ分明ナラサル時ハ
其犯人一月ヨリ少カラヌ五年ヨリ多カラサル時間

禁錮ノ刑ニ處セサル可シ

若シ其子ノ生存セサルノ證アル時ハ其犯人六日ヨリ少カラス二月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

子ヲ預リタル者其子ノ引渡ヲ求ム可キ權アル者ヨリ求メテ受ケテ猶其子ヲ示サ、ル時ハ徒刑場内ニ於テ使役スル刑ニ處セラル可シ

第三百四十六條 婦ノ子ヲ産スル時立會ヲ爲セシ者民法第五十六條ニ記シタル所ニ循ヒ民法第五十五條ニ記シタル期限内ニ其出産ノ事ヲ陳述セサル時

ハ六日ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且十六「フランク」ヨリ少カラス三百「フランク」ヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第三百四十七條 棄兒ヲ見出シタル者民法第五十八條ニ記シタル如ク其兒ヲ身上證書ノ官吏ニ渡サ、ル時ハ前條ニ記シタル刑ニ處セラル可シ
其兒ヲ引受ク可キヲ承諾シ其由ヲ其兒ヲ見出セシ地ノ邑廳ニ陳述シタル者ニハ此條ノ規則ヲ通シ用フ可カラス

第三百四十八條 滿七歳以下ノ兒ノ管照ヲ爲スタメ

又ハ其他ノ原由ヲ以テ人ヨリ預カリタル其兒ヲ貧
院ニ移送セシ者ハ六週ヨリ少カラス六月ヨリ多カ
ラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且十六「フランク」ヨ
リ少カラス五十「フランク」ヨリ多カラサル罰金ノ言
渡ヲ受ク可シ

然レモ若シ其預リ人自己ノ費用ヲ以テ其子ノ養育
ヲ爲ス可キ契約ヲ爲サス且他ニ其養育ノ費用ヲ給
ス可キ者ナキ時ハ其預リ人ヲ刑ニ處ス可カラス

第三百四十九條 滿七歳以下ノ兒ヲ寥闕ノ地ニ棄テ
シ者又ハ其兒ヲ棄ツ可キノ命ヲ爲シテ現ニ其命ノ

行ハレシ者ハ此所行ノミヲ以テ六月ヨリ少カラス
二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且十
六「フランク」ヨリ少カラス二百「フランク」ヨリ多カラ
サル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第三百五十條 兒ノ後見人又ハ其授業師自ラ其兒ヲ
棄テ又ハ棄ツ可キノ命ヲ爲タル時ハ二年ヨリ少カ
ラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ
且五十「フランク」ヨリ少カラス四百「フランク」ヨリ多
カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第三百五十一條 若シ第三百四十九條及第三百五十

條ニ記シタル如ク兒ヲ棄テタルニ因リ其兒ノ身體
 ナ創傷シ又ハ不具ト爲シタル時ハ其兒ヲ棄テシ者
 故意ヲ以テ其兒ヲ創傷シタルノ罪アリト看做ス可
 シ若シ又其兒ノ之レカ爲メ死去セシ時ハ其兒ヲ棄
 テシ者故殺ノ罪アリト看做ス可シ但シ其棄兒ノ身
 體ヲ創傷セシ時ハ其兒ヲ棄テシ者故意ヲ以テ人ヲ
 創傷スル罪ノ刑ニ處セラレ又其棄兒ノ死去セシ時
 ハ其兒ヲ棄テシ者故殺ノ罪ノ刑ニ處セラル可シ

第三百五十二條

滿七歳以下ノ兒ヲ寥闕ナラサル地

ニ棄テシ者ハ三月ヨリ少カラヌ一年ヨリ多カラサ

ル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且十六「フランク」ヨリ少
 カラス百「フランク」ヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受
 ク可シ

第三百五十三條

若シ兒ノ後見人又ハ其授業師前條

ニ記シタル罪ヲ犯セシ時ハ六月ヨリ少カラヌ二年
 ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且二十五
 「フランク」ヨリ少カラヌ二百「フランク」ヨリ多カラサ
 ル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第一百六十九條 他人ノ子ヲ己レノ子ト思料シ又ハ故

ラニ子ヲ取り換へタル者又他ノ方法ヲ以テ故ラニ

他人ノ身分ノ証書ヲ變造シ又之レヲ廢棄シタル者

ハ三年ヨリ長カラサル徒刑ニ處シ若シ利ヲ得ント

スルノ意ニテ之レヲ犯シタル時ハ十年ヨリ長カラ

サル徒刑ニ處ス可シ

之レヲ犯サントセシ所業モ亦罰ス可シ

第一百七十條 婚姻ヲ契約スルニ當リ法律上ニテ婚姻

ノ妨ケトナル可キ下ヲ詐欺ヲ以テ其配偶者ニ隱シ

タル者又錯誤ヲ以テ誑誘セラレタル夫婦ノ内一人

ニテ其婚姻ノ法ニ適スル哉ヲ訴フル下ヲ聽ス可キ

充分ノ詐欺アルニ其配偶者ヲシテ故ラニ婚姻ノ契

約ヲナサシメタル者若シ其道理ニヨリテ婚姻破約

トナリタル時ハ三ヶ月ヨリ短カラサル禁獄ニ處ス

可シ

錯誤ノ爲メ誑誘セラレタル者ヨリ訴フルヲ待テ其

罪ヲ論ス可シ

○白耳義

第三百五十四條

凡生兒ヲ棄ル者

棄兒 放兒

若クハ七歳未

満ノ兒ヲ寥闕ナラサル地ニ放遺スル者及放棄セシムル者ハ皆一月ヨリ一年マテノ獄ニ處シ二十「フランク」ヨリ六百「フランク」マテノ罰金ヲ命ス可シ

第三百五十五條

凡兒童ノ依託ヲ受クル者及ヒ其嫡

庶父母前條ノ法ヲ犯ス者ハ三月ヨリ二年マテノ獄

ニ處シ二十六「フランク」ヨリ二百「フランク」マテノ罰

金ヲ命ス可シ

第三百五十六條

凡兒童ヲ放遺スルニ於テ其兒童若

シ折傷シ或ハ癡疾トナルキハ第三百五十四條ノ犯

ニ於テハ六月ヨリ二年マテノ獄ニ處シ二十六「フラ

ンク」ヨリ二百「フランク」マテノ罰金ヲ命ス可シ

第三百五十五條ノ犯ニ於テハ一年ヨリ三年マテノ

獄ニ處シ五十「フランク」ヨリ三百「フランク」マテノ罰

金ヲ命ス可シ

第三百五十七條 凡放遺ニ因テ死ニ致ス者ハ第三百

五十四條ノ犯ニ於テハ一年ヨリ三年マテノ獄ニ處

シ五十「フランク」ヨリ三百「フランク」マテノ罰金ヲ命

ス可シ

第三百五十五條ノ犯ニ於テハ二年ヨリ五年マテノ

獄ニ處シ五十「フランク」ヨリ三百「フランク」マテノ罰

金ヲ命ス可シ

第三百五十八條 凡七歳未滿ノ兒ヲ寥閔ノ地ニ放遺シ若クハ放遺セシムル者ハ六月ヨリ三年マテ獄ニ處シ五十「フランク」ヨリ三百「フランク」マテノ罰金ヲ命ス可シ

第三百五十九條 凡父母庶父母若クハ兒ノ依託ヲ受クル者其兒ヲ寥閔ノ地ニ放遺スル者ハ一年ヨリ五年マテノ獄ニ處シ一百「フランク」ヨリ五百「フランク」マテノ罰金ヲ命ス可シ

第三百六十條 凡前二條ノ放遺ニ因リ其兒折傷或ハ

癡疾トナル片ハ監役ニ處ス可シ

若シ死ニ致ス者ハ十年ヨリ十五年マテノ懲役ニ處ス可シ

第三百六十一條 凡出産ニ會シ民法第五十五、五十六及ヒ五十七條ノ法ニ從ヒ上告セサル者ハ八日ヨリ三月マテノ獄ニ處シ二十六「フランク」ヨリ二百「フランク」マテノ罰金ヲ命ス可ク若クハ唯此中ノ一刑ニ處ス可シ

第三百六十二條 凡生兒ヲ認メ民法第五十八條ノ法ニ從ヒ三日内ニ之ヲ民生官吏ニ送致セサル者モ罪

同シ

若シ生兒ノ生育等ヲ引受ケ其由ヲ(生兒ヲ認メタル事ヲ)其邑ノ官ニ告知スル者ハ坐セス

第三百六十三條 凡生兒ヲ失フ者(殺スヲ云フ)他人ノ子ト交換スル者或ハ某ノ子某ノ婦ノ子ト偽リ定ムル者等ハ皆監役ニ處ス可シ

以上ノ犯罪ニ力ヲ加ヘ事既ニ成ル者ハ同罪トス

第三百六十五條 凡七歳未滿ノ兒ヲ藏匿シ若クハ藏匿セシムル者ハ一年ヨリ五年マテノ獄ニ處シ五十「フランク」ヨリ五百「フランク」マテノ罰金ヲ命ス可シ

第三百六十六條 凡兒ノ養育ニ任スル者其兒ヲ七歳

未滿ナルニ貧院ニ入レ及ヒ入レシムル片ハ一月ヨリ六月マテノ獄ニ處シ二十六「フランク」ヨリ一百「フランク」マテノ罰金ヲ命ス可シ

若シ自費ヲ用テ兒ノ養育ヲ爲ス義務ナキ者ニシテ他ニ其費ヲ仰ク所ナキ者ハ坐セス

第三百六十七條 凡七歳未滿兒ノ養育ヲ任セラレ兒ノ本主ヨリ求需スルヲ肯セサル者ハ八日ヨリ一年マテノ獄ニ處シ二十六「フランク」ヨリ一百「フランク」マテノ罰金ヲ命ス可シ

〇埃及

第二百五十二條 初生ノ子ヲ他ノ子ト替へ又ハ子ヲ産マサル婦ニ子ヲ産ミタリト言掛クル者ハ六月ヨリ少カラス三年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第二百五十三條 初生ノ子ノ出産ヲ隠蔽スルノ罪ヲ犯セシ者ハ亦前條ニ記シタル刑ニ處セラル可シ 若シ其子ノ引渡ヲ求ム可キ權アル者ニ其子ヲ示サス又ハ其子ヲ還サ、ル時ハ其刑期ヲ倍ス可シ

〇英吉利

凡婦人ノ子ヲ産ミ其子既ニ死タリト雖モ如シ秘隱シテ官府ニ出産ヲ報告セサル者ハ輕罪ニ坐シ二年ニ止ル入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ

凡故ラニ二歳以下ノ赤子ヲ棄去スル者ハ輕罪ニ坐シ五年ノ徒罪或ハ二年ニ過キサル入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ

〇印度

第三百十七條 父母又ハ保護者十二歳未滿ノ兒ヲ棄ツ、父母又ハ保護者十二歳未滿ノ兒ヲ棄ル者ハ七年ニ止ル各種ノ入獄若クハ贖金ニ處シ又ハ入獄贖金ヲ兩用シテ之ヲ罰ス可シ

説明、此條ハ棄兒死ニ至ル片ハ犯者ヲ謀殺又ハ尋常有罪殺ヲ以テ裁斷スルヲ妨ケサルナリ

第三百十八條 窃カニ死體ヲ埋メ兒ノ出産ヲ隱ス、其罪産前産後ニ在ルヲ問ハヌ窃カニ兒ノ死體ヲ埋メ又ハ其他ノ方法ヲ以テ故ヲニ其出産ヲ隱シ又ハ隱サント試ミル者ハ二年ニ止ル各種ノ入獄若クハ贖

金ニ處シ又ハ入獄贖金ヲ兩用シテ之ヲ罰ス可シ

○墮地利

第四百十九條 未タ幼稚ニシテ猶ホ自ラ性命保存ヲ爲シ能ハサル者ヲ放棄シ其ヲシテ爰ニ死亡ニ至ルカ若クハ不意ノ救助ニ會セシムル者ハ仮令其事何等ノ起因ヨリ生スルヲ問ハス齊シク之ヲ重罪トス

第百五十條 其兒ヲ放棄スルノ場所凡ソ平生人ノ至ラサル處ナルカ又ハ容易ニ人ノ之ヲ見出ス能ハサル手段ヲ設ケテ以テ擲棄スルニ於テハ之ヲ一年以

上五年以下ノ重徒刑ニ處ス可シ又其兒果シテ死スルニ於テハ五年以上十年以下ノ重徒刑トス

第百五十一條 然レモ其兒ヲ放棄スルノ場處通常人ノ往來スル處ニシテ果シテ直チニ之ヲ見出シテ救助シ得ルニ於テハ六月以上一年以下ノ徒刑ニ處ス可シ但シ其兒死スルニ於テハ一年以上五年以下ノ徒刑トス

○加利堡爾尼

第二百七十一條 凡未滿六歲兒ノ父母及ヒ未滿六歲

兒ヲ養育教導ノ爲メニ委託セラレタル者若シ全ク其兒ヲ棄絶セント欲シテ之ヲ外ニ捨ル者ハ七年以下ノ禁固若クハ一年以下ノ禁固ヲ科ス

第三百六十條 凡主婚者若シ故ラニ婚娶若クハ假冒ノ婚娶ニ虚偽ノ復命ヲ主記ニ行フ者及ヒ主記若シ婚娶ノ復命ヲ登記スルニ虚偽アル者ハ並ニ上條ノ刑ヲ科ス上條ノ刑ハ一百元以上千元以下ノ禁固或ハ右二刑ヲ併科スルナリ

第五十四 墮胎ノ罪

○佛蘭西

第三百十七條 食料飲料藥品ヲ用ヒ又ハ暴行ヲ加ヘ
或ハ其他ノ方法ヲ以テ懷胎シタル女ヲ墮胎セシメ
タル者ハ其女ノ其事ヲ肯スルト否トヲ問ハス徒刑
場内ニ於テ使役スル刑ニ處セララル可シ
自己ノ意ヲ以テ墮胎ヲ爲サシメタル女又ハ人ノ指
示シタル方法ヲ用フルト肯シ墮胎シタル女ハ同
上ノ刑ニ處セララル可シ

墮胎ヲ爲スニ必要ナル物品ヲ指示シ又ハ用ヒタル

内科外科ノ醫士又ハ下等醫士又ハ其藥ヲ販賣シタル者ハ其婦ノ墮胎シタル時ハ有期ノ徒刑ニ處セラ
ル可シ

○獨逸

第二百十八條 孕婦自ラ墮胎ヲ爲シ或ハ胎内ニテ其子ヲ殺シタル者ハ五年ヨリ短カラサル徒刑ニ處ス可シ
若シ酌量輕減アル時ハ六月ヨリ短カラサル禁獄ニ處ス可シ

孕婦ノ承諾ニ因リ墮胎ヲ爲シ或ハ胎内ニテ其子ヲ殺サン爲メ要用ナル方法ヲ用ヒ或ハ之レヲ行フタル者ハ同刑ニ處ス可シ

第二百十九條 自ラ墮胎シ或ハ其子ヲ胎内ニ於テ殺シタル孕婦ニ其墮胎ニ要用ナル方法ヲ授ケ或ハ之レヲ用ヒ或ハ之レヲ行ヒ因テ金ヲ得タル者ハ十年ヨリ長カラサル徒刑ニ處ス可シ

第二百二十條 孕婦ノ承諾ニ依ラス或ハ其意ニ反シテ故ラニ其子ヲ墮胎セシメ或ハ胎内ニテ其子ヲ殺シタル者ハ二年ヨリ短カラサル徒刑ニ處ス可シ

其犯事ニヨリ孕婦死シタル時ハ十年ヨリ短カラサル時間徒刑又ハ無期ノ徒刑ニ處ス可シ

○埃及

第二百二十九條 何人ニ限ラス毆擊又ハ其他ノ暴行ニ因リ故ラニ懐胎ノ婦ヲ墮胎セシメシ者ハ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ

第二百三十條 何人ニ限ラス藥品ヲ用ヒ又ハ別段ノ方術ヲ用ヒ或ハ之ヲ教示シテ懐胎ノ婦ヲ墮胎セシメシ者ハ其婦ノ承諾ノ有無ヲ問ハス六月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第二百三十一條 右ノ藥品ヲ用ヒ又ハ右ノ方術ヲ用フルヲ承諾シ或ハ自ラ之ヲ用ヒ墮胎シタル婦ハ亦前條ニ記スル刑ニ處セラル可シ

第二百三十二條 若シ其犯人内科外科ノ醫師又ハ製藥者タル時ハ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ

如何ナル場合ニ於テモ墮胎ヲ爲サント試ミ爲シタルノミニ於テハ犯罪ノ訴ヲ受ク可ラス

○白耳義

第三百四十八條 凡食物、飲料、藥品若クハ暴行其他ノ方法ヲ以テ爲スヲ欲セサル婦ヲ強テ墮胎セシムル者ハ監役ニ處ス可シ

若シ事成ラサル者ハ第五十二條ニ從テ論ス可シ

第三百四十九條 凡墮胎セント欲ルニ非スシテ縱マ

々ニ暴行ヲ用ヒ因テ墮胎ニ致ス者ハ三月ヨリ二年

マテノ獄ニ處シ二十六「フランク」ヨリ三百「フランク」

マテノ罰金ヲ命ス可シ

若シ謀テ暴ヲ加ヘ若クハ婦ノ妊娠スルヲ知テ暴ヲ

加ヘ因テ墮胎ニ致ス者ハ六月ヨリ三年マテノ獄ニ處シ五十「フランク」ヨリ五百「フランク」マテノ罰金ヲ命ス可シ

第三百五十條 凡婦ノ承諾スルニ因リ食物、飲料、藥品

及ヒ諸般ノ方法ヲ以テ墮胎セシムル者ハ二年ヨリ

五年マテノ獄ニ處シ一百「フランク」ヨリ五百「フラ

ンク」マテノ罰金ヲ命ス可シ

第三百五十一條 凡承諾シテ墮胎スル婦ハ二年ヨリ

五年マテノ獄ニ處シ一百「フランク」ヨリ五百「フラン

ク」マテノ罰金ヲ命ス可シ

第三百五十二條 凡墮胎シ其婦ヲ死ニ致ス者ハ其方
 法ヲ行フ者或ハ情ヲ知テ指示スル者共ニ其婦ノ承
 諾スルニ因ル者ハ監役其承諾セサルニ強フル者ハ
 十年ヨリ十五年マテノ懲役ニ處ス可シ
 第三百五十三條 凡第三百四十八條三百五十條及三
 百五十二條ノ犯罪内外科醫産醫産婆軍醫藥舖等々
 レハ罪獄ニ該ルハ監役監役ニ該ルハ十年ヨリ十五
 年マテノ懲役十年ヨリ十五年マテノ懲役ニ該ルハ
 十五年ヨリ二十年マテノ懲役ニ處ス可シ

○英吉利

凡孕婦自ラ藥劑ヲ吞ミ或ハ器械ヲ用ヒ因テ墮胎セン
 トスル者ハ重罪ニ坐シ五年ヨリ終身ノ徒罪ニ處シ
 或ハ二年ニ過キサル入獄ニ處シ若クハ苦役及ヒ隘
 牢ヲ加ヘテ處斷ス
 若シ藥劑ヲ與へ或ハ器械ヲ用ヒテ孕婦ノ胎ヲ墮サ
 ントシ若クハ孕婦ヲシテ自ラ取用セシムル者ハ其
 子ノ有無ニ拘ハラズ罪亦同シ
 若シ人ノ孕婦ヲ墮胎セシメント謀リ情ヲ知テ之レ
 ニ藥劑器械ヲ付與シ或ハ爲ニ媒牙スル者モ亦父子

ノ有無ニ拘ハラヌ輕罪ニ坐シ五年ノ徒罪或ハ二年ニ過キササル所ノ入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ

○印度

第三百十二條 墮胎眞實母ノ命ヲ救フノ爲メニ非スシテ墮胎セシムル者ハ三年ニ止ル各種ノ入獄若クハ贖金ニ處シ又ハ入獄贖金ヲ兩用シテ之ヲ罰ス可シ胎内ノ兒已ニ活ルノ後ニ在レハ七年ニ止ル各種ノ入獄及贖金ニ處ス可シ
説明自ラ墮胎スル婦人モ此條ニ包含ス

第三百十三條 母ノ承諾ヲ經ス墮胎セシム母ノ承諾

ナク前條ノ罪ヲ犯ス者ハ其胎兒已ニ活キルト否サルトヲ問ハス終身流若クハ十年ニ止ル各種ノ入獄ニ處シ且贖金ヲ科ス

第三百十四條 墮胎死ヲ生ス婦人ヲシテ墮胎セシム

ルノ意ヲ以テ其死ヲ生スルノ所爲ヲ行フ者ハ十年ニ止ル各種ノ入獄及ヒ贖金ニ處ス可シ
婦人ノ承諾ヲ經スシテ之ヲ行フ者ハ終身流若クハ上文ノ罰ニ處ス可シ

説明此罪ニ个犯罪者其所爲死ニ致スノ恐レアルヲ

知ルヲ必要トス

第三百十五條 兒ノ活テ生ル、ヲ妨ケ又ハ生後之ヲ死ニ致スノ意ヲ以テ行フタル所爲、兒生ル、前其活テ生ル、ヲ妨ルノ意ヲ以テ或ハ其生ル、後之ヲ死ニ致スノ意ヲ以テ一所爲ヲ行ヒ因テ其活テ生ル、ヲ妨ケ或ハ生ル、後之ヲ死ニ致ス眞實母命ヲ救フヲ爲メニ非ザル片ハ十年ニ止ル各種ノ入獄若クハ贖金ニ處シ又ハ入獄贖金ヲ兩用シテ之ヲ罰ス可シ

第三百十六條 胎内已ニ活キタル兒ヲ殺ス、有罪殺ノ所爲ヲ行ヒ胎内已ニ活キタル兒ヲ殺ス者ハ十年ニ

止ル各種ノ入獄及贖金ニ處ス可シ

○墮地利

第三百十四條 凡ソ婦人故ヲニ或ル所爲ヲ以テ其胎ヲ墮下ス可キヲ企テ因テ其兒ヲシテ死シテ分娩セシムル者ハ論スルニ重罪ヲ以テス

第三百十五條 墮胎ヲ爲サント欲シ其方術ヲ施スト雖モ遂クル能ハサル者六月以上一年以下ノ徒刑トス又果シテ其墮胎ヲ遂クルニ於テハ一年ヨリ少カラズ五年ヨリ多カラサル重徒刑ニ處ス可シ

第四百四十六條 墮下セラレタル兒ノ父本罪ニ關涉スルニ於テハ之レニ前條ノ刑ヲ科スルト特ニ苛酷ナル可シ

第四百四十七條 孕婦ニ秘シ若クハ其意ニ乖リ故ラニ其胎兒ヲ墮下セシメ若クハ墮下セシメント企ツル者モ亦齊シク前條ノ罪トス

第四百四十八條 這ノ重罪者ハ一年以上五年以下ノ重徒刑ニ處ス可シ但シ本罪ニ依テ其婦ノ性命ヲ危險ナラシムルカ又ハ其健全ヲ害傷スルニ於テハ五年以上十年以下ノ重徒刑トス

○加利堡爾尼

第二百七十四條 凡孕婦ノ性命ヲ救保スルカ爲メニ非ス全ク之ヲ墮胎セシメント欲シテ之ニ製藥藥劑物料ヲ附與供給使用シ若クハ之ニ這樣ノ藥品ヲ服用セシムルトヲ致シ或ハ之カ爲メニ器械若クハ其宅ノ諸機具ヲ使用スル者ハ二年以上五年以下ノ禁固ヲ科ス

第二百七十五條 凡孕婦其性命ヲ救保スルカ爲メニ非ス全ク墮胎ヲ得ント欲シテ之カ爲メニ製藥藥劑

物料ヲ人ニ請求シテ之ヲ服用シ或ハ之カ爲メニ外科ノ手術若クハ諸器械ノ使用ヲ受ル者ハ一年以上五年以下ノ禁固ヲ科ス

各國刑法類纂中卷終

正誤

上卷

中卷

八百八十九丁五行六行ノ間ニ(○白耳義)ヲ脱ス

十丁五行(某)ハ(其)

十四丁五行(候)ハ(侯)

十六丁八行(逐)ハ(遂)

七十一丁九行(ヲ)ハ(術字)

九十三丁三行(斤)ハ(斥)

百六十一丁十行(晤)ハ(悟)

二百七十丁八行(晤)ハ(悟)

三百八十三丁四行(倍)ハ(陪)

四百九十六丁八行(井)ハ(片)

同丁九行(筒)ハ(箇)

五百十三丁三行(間)ハ(間)

五百二十丁七行(團)ハ(圍)

五百五十五丁六行(ノ)ハ(シ)

五百七十七丁六行(時)ハ(特)
 六百丁十行(囚)ハ(因)
 六百二十一丁六行(ハ)ハ(ニ)
 六百二十九丁七行下ノ(ル)ハ(ヲ)
 六百四十九丁二行(親)ハ(新)
 六百五十丁十行(ヌ)ハ(ル)
 六百五十六丁七行罰ハノ(ハ)ハ(衍字)
 八百十三丁二行(リ)ハ(ル)
 八百五十一丁八行(單)ハ(衍字)
 八百八十九丁四行(註)ハ(註)
 九百十五丁一行(シ)ハ(シ)
 千六十六丁六行(讒讒)ハ(讒謗)
 千七百七十二丁四行(シ)ハ(シ)
 千二百三十四丁四行(鞠)ハ(鞠)
 千二百四十九丁十行(困)ハ(因)
 千二百六十七丁三行(虚)ハ(處)
 同下(穴行(客)ハ(容))

千三百丁ノ丁附(三一〇〇)ハ(一三〇〇)
 千三百十六丁一行(サ)ハ(ヲ)
 千三百四十三丁六行獄ノ上ノ(ノ)ハ(衍字)

477B-11











